優良住宅部品（ＢＬ部品）ガイドブック 2015

まえがき

一般財団法人ベターリビングでは、安全で快適な「住まいづくり」のために、品質・性能及びアフターサービス等に優れた住宅部品を「優良住宅部品(ＢＬ部品)」として認定し普及を図っていますが、優良住宅部品(ＢＬ部品)の普及促進を図るため、２０１５年度版として本ガイドブックを刊行いたしました。

本ガイドブックは、主に住宅供給者、設計者及び施工者の方々を対象に、優良住宅部品(ＢＬ部品)の採用上のメリットや特徴などをご案内することにより､優良住宅部品(ＢＬ部品)をご理解いただくとともに、より一層優良住宅部品(ＢＬ部品)をご採用いただけるようにするために作成したものです。

本ガイドブックでは、優良住宅部品(ＢＬ部品)をご採用いただくことにより得られる**「消費者、住宅供給者、設計者及び施工者のメリット」**について最初にご紹介します。

次に、品目ごとの**「優良住宅部品(ＢＬ部品)の特徴」**と**「優良住宅部品(ＢＬ部品)供給企業」**についてご紹介するとともに、具体的な製品を選択する際にご利用いただくために、当財団ホームページで掲載している**「ＢＬ部品 製品紹介」**のご利用方法についてご紹介します。

最後に、住宅供給、設計、施工時における**「優良住宅部品(ＢＬ部品)の発注等の方法」**についてご紹介します。

本ガイドブックをご活用いただき､優良住宅部品(ＢＬ部品)をご採用くださいますようお願い申し上げます。なお、優良住宅部品(ＢＬ部品)の最新の情報をご覧いただけるよう、当財団ホームページ上に本ガイドブックを掲載し、逐次データを更新いたしておりますので、併せてご活用くださいますようお願いいたします。

当財団ホームページ http://www.cbl.or.jp/

＜本ガイドブックの掲載情報は、２０１５年６月１日現在のものです。＞

優良住宅部品(ＢＬ部品)ガイドブック2015　　目次

Ⅰ　優良住宅部品(ＢＬ部品)認定制度

優良住宅部品(ＢＬ部品)認定制度は、品質、性能、アフターサービス等に優れた住宅部品の認定を行ない、普及促進を図り、住生活水準の向上と消費者保護を推進することを目的に１９７４年に創設された制度です。ＢＬとは“Better Living(よりよい住生活)”の頭文字をとったものです。

１．優良住宅部品(ＢＬ部品)とは

住宅部品は、住宅を構成する要素のひとつとして、住宅と調和することが重要です。

一般財団法人ベターリビングでは、次の５つの要件について品目別の認定基準等を満足していることを確認した優良な住宅部品を『ＢＬ部品』として認定しています。要件のひとつでも欠けたものは優良住宅部品(ＢＬ部品)とはなりません。

(1) 機能に優れ、快適な居住環境を提供できるもの
(2) 安全性が確保されたもの
(3) 耐久性、維持性が優れたもの
(4) 適切な施工が確保されるもの
(5) 確実な供給、品質保証及び維持管理に係るサービスを提供できるもの

▼『BL-bs 部品』とは

優良住宅部品(ＢＬ部品)のうち、次の社会的要請への対応を先導するような特長を有する住宅部品を、特に「BL-bs 部品」“BL-bs：Better Living for better society”として認定しています。

① 環境の保全に寄与する特長
② 社会の資産としての住宅ストックの形成・活用に寄与する特長
③ 高齢者・障害者を含む誰もが安心して生活を送ることができる社会の実現に寄与する特長
④ 防犯性の向上に寄与する特長＊1
⑤ その他より良い社会の実現に資する特長

＊１：防犯性の向上に寄与する特長を有するＢＬ-bs 部品は、『防犯性の向上に寄与する特長を備えた優良住宅部品に対する支援』に基づき、犯罪行為で当該部品が壊された場合の交換等に要する費用の一部を支援いたします。 ※ **詳細は** ＢＬ防犯支援 検 索
(http://www.cbl.or.jp/blsys/bsnintei/koukanshien.html)

優良住宅部品(ＢＬ部品)の目印

認定を受けた住宅部品には、「ＢＬマーク証紙」、「BL-bs マーク証紙」の貼付等により優良住宅部品(ＢＬ部品)であることを表示しています。

表示の無いものはＢＬ部品ではありません。

BL マーク証紙の表示例

▼表示の種類

優良住宅部品(ＢＬ部品)の目印は、上記の表示以外に刻印等により表示されているものもあります。

BL-bs マーク証紙の表示例

★ 品目毎のＢＬマーク証紙貼付位置及び表示の種類については、財団ホームページで紹介しています。

こちらのキーワードで検索 ＢＬ保険制度 検 索

ＢＬ部品証紙貼付位置のボタンからダウンロードしてください。
(http://www.cbl.or.jp/blsys/shinsei/yousiki/excel/beppyou6-1.xls)

2. 消費者のメリット

住宅供給者、設計者、施工者の皆様が、優良住宅部品（ＢＬ部品）を採用することで、消費者が得られるメリットをご紹介いたします。このようなメリットを消費者に届けられますので、是非ご採用ください。

優良な性能の総合的な提供

優良住宅部品の認定基準は、学識者、消費者、住宅供給者、設計者、施工者、メーカーの代表が参加する委員会において協議され、当該品目にとって必要な要求事項を多面的に網羅して作成されています。

優良住宅部品（ＢＬ部品）は、この認定基準に基づき当財団が評価した上で認定（認定期間５年間）しています。

また、認定期間中の品質の確保等についての確認をしています。

よって、総合的に優れた性能の住宅部品を手に入れることができます。

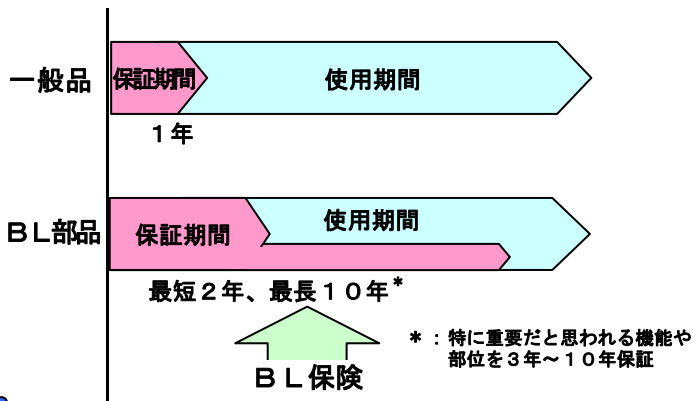
※　**優良住宅部品認定基準等についての詳細は**　ＢＬ基準　検 索
（http://www.cbl.or.jp/blsys/blnintei/kijyun.html）

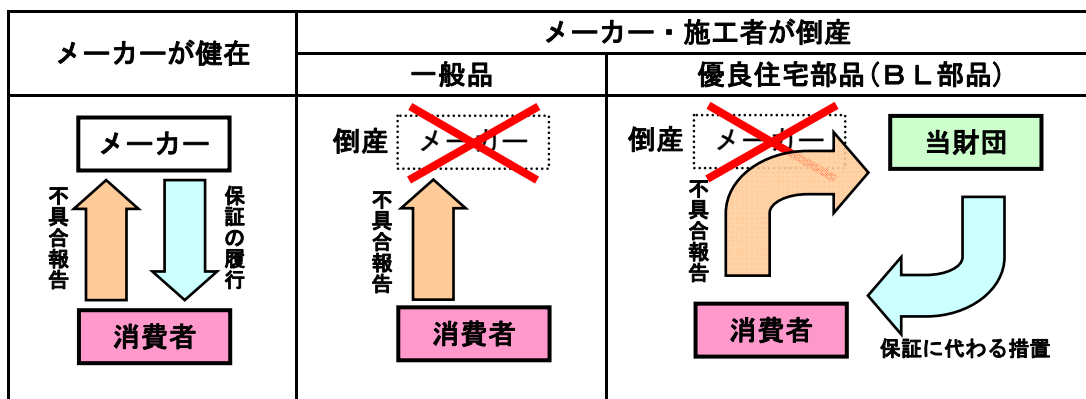
保険にバックアップされた保証（２年以上の保証期間の義務付け）

優良住宅部品（ＢＬ部品）は一般（一般的に住宅部品の保証は１年）よりも長い２年以上の無償修理保証をメーカーに義務付けています。

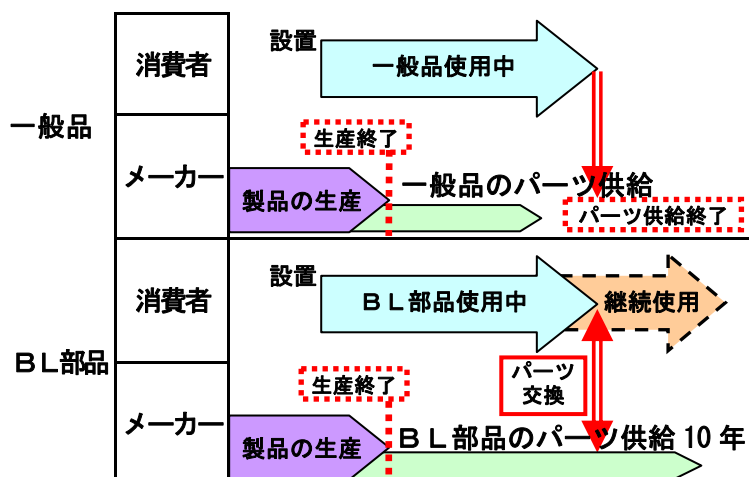
優良住宅部品（ＢＬ部品）には、「保証責任保険」、「賠償責任保険」の２つの保険が付保されており、優良住宅部品（ＢＬ部品）の設計、製造、施工の瑕疵による不具合に対する、メーカー等の保証（交換・補修等）に要する費用に対し保険金が支給されます。

これにより、不具合等が発生した場合、迅速かつ確実に交換・補修等が行われます。

※　**ＢＬ保険制度についての詳細は**　ＢＬ保険制度　検 索
（http://www.cbl.or.jp/blsys/hoken/file/tebiki.pdf）

メーカー等の倒産時も当財団が保証に代わる措置

一般よりも長いメーカーの保証も、確実に履行されなければ皆様の期待を裏切ることになります。優良住宅部品（ＢＬ部品）の設計、製造、施工の瑕疵による不具合に対して、メーカー又は施工者が倒産等により負うべき保証責任等を履行できない場合、当財団が補償責任等の履行に代わる措置を行います。

長期使用を可能とする維持管理サービス（取替えパーツ供給期間は１０年以上）

住宅部品を使用中であっても、生産中止に併せて取替えパーツの供給が切れることによって､住宅部品を継続使用できなくなることがあります。

優良住宅部品(ＢＬ部品)は、生産中止後においても１０年以上の取替えパーツ供給をメーカーに義務付けています。

お客様相談室によるお客様サポート

ベターリビングでは、お客様相談室を設置し、優良住宅部品(ＢＬ部品)に関する不具合･苦情等の相談対応やアフターサービスに係る情報提供のほか、リコールが発生した場合には関係機関と連携をとり速やかに所有者へ情報提供をしています。

★　不具合・苦情相談、製品の取扱い方法、点検、修理等のアフターサービス相談等の対応、必要に応じてメーカーの相談窓口、修理窓口等と連携して適切な対応をしています。

★　取組みから得たお客様の声を、優良住宅部品(ＢＬ部品)の改善等に活かしています。

※　**優良住宅部品（ＢＬ部品）に関する、よくある相談は** ＢＬお客様相談室 検 索
（http://www.cbl.or.jp/cs/index.html）

『防犯ＢＬ-bs 部品』が万一の出費に対して支援します

扉やサッシのこじ破り、錠のピッキング等、侵入盗に対する高い防犯性能を有する『防犯ＢＬ-bs 部品』でも、侵入はなくても部品を壊される可能性があります。

犯罪行為で当該部品が壊された場合、設置後３年間は交換等に要する費用の一部を所有者に対して支援します。

【品目別の支援額】

玄関ドア、改修用玄関ドア	８万円	玄関ドア用錠前	２万円
サッシ、改修用サッシ	４万円	面格子	５万円

※　**詳細は** ＢＬ防犯支援 検 索
(http://www.cbl.or.jp/blsys/bsnintei/koukanshien.html)

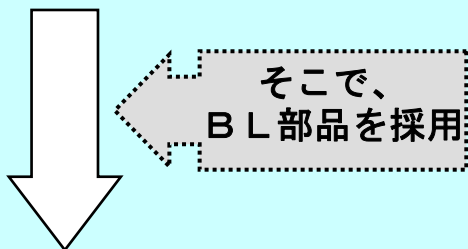
３．住宅供給者・設計者・施工者のメリット

優良住宅部品(ＢＬ部品)は、住宅の設計時、工事発注時、受注における住宅部品の採用時、竣工検査時等における業務軽減、設計施工の瑕疵の保証、アフターサービスのお手伝いをいたします。

	品質確認の合理化	現場検査の効率化
住宅供給者・設計者・施工者	住宅部品を採用の都度、自らがチェックを行うことは相当の負担になります。 ↓ そこで、ＢＬ部品を採用 優良住宅部品（ＢＬ部品）は、性能、生産品質、施工、アフターサービスまで含めた認定基準により、第三者機関であるベターリビングが品質を確認して認定を行っています。 さらに、これらの性能が継続的に維持されて供給されているかどうかを、定期的なサーベイランスで確認しています。	施工現場に持ち込まれた製品が設計図書で指定された仕様の住宅部品かどうかをチェックする労力は、相当なものが必要です。 ↓ そこで、ＢＬ部品を採用 発注図書において優良住宅部品（ＢＬ部品）と指定していただければ、現場での検品が『ＢＬマーク証紙』により簡単に行うことが出来ます。

※　「Ⅲ　優良住宅部品(ＢＬ部品)の発注等の方法」をご参照ください。

設計･施工の瑕疵の保証

住宅部品には据付工事が伴います。その据付工事に瑕疵があれば施工者の負担で補修をしなければいけません。

保証期間内に優良住宅部品（ＢＬ部品）の設計、施工の瑕疵による交換・補修等を行った場合、その費用に対し保険金が支給されます。

充実したアフターサービス

消費者は、どんな時も安心できる充実したアフターサービスの提供を求めています。

そこで、
ＢＬ部品を採用

●万一の製品や施工の瑕疵に対して、保証と賠償の２つの保険でバックアップしています。なお、メーカー及び施工者が倒産した場合も、消費者に対してベターリビングが保証に代わる措置をいたします。

●優良住宅部品（ＢＬ部品）は、消費者が長く使用できるよう、生産中止後においても一般品よりも長い１０年以上の取替えパーツ供給をメーカーに義務付けています。

Ⅱ　優良住宅部品(ＢＬ部品)のご案内

１．品目別の優良住宅部品(ＢＬ部品)の特徴

ここでは、現在認定されている優良住宅部品(ＢＬ部品)の用途・種類、特徴について、品目別にご紹介します。

設置対象建物とBL部品の認定状況 （BL認定基準における設置対象建物とBL認定品の有無）

●:BL認定基準及び認定部品有り　○:BL認定部品無し

カテゴリー	品　目　名	掲載頁	設置対象建物の構造種別				ＢＬ-bs 部品の種類				認定社数
			共同住宅		戸建						
			RC 造	木造	RC 造	木造	環境	ストック	長寿社会	防犯性	
玄関まわり	玄関ドア	8	●	○	●	○	●		●	●	9
	改修用玄関ドア	10	●	—	—	—	●	●	●	●	12
	ドア・クローザ	12	●	●	●	●					4
	玄関ドア用錠前	14	●	●	●	●				●	3
	宅配ボックス	15	●	●	○	●					2
	郵便受箱	16	●	●	●	●					11
	プレスドア専用改修用扉	18	●	—	●	—		●			2
窓・手すり	サッシ	19	●	○	●	○	●		●	●	4
	改修用サッシ	20	●	—	●	—	●	●	●	●	4
	内窓	22	●	●	●	●	●				4
	サッシ（天窓）	24	●	●	●	●					4
	面格子	25	●	●	●	●				●	8
	墜落防止手すり	26	●	○	●	○					24
インテリア	歩行・動作補助手すり	28	●	●	●	●					29
	内装床ユニット	29	●	—	●	—					6
	断熱改修用内装パネル(壁・天井)ユニット	30	●	●	●	●	●				2
	天井ユニット	32	●	—	●	—					1
エクステリア	ガレージ	33	●	●	●	●					1
	自転車置場	35	●	●	●	●					8
	物置ユニット	37	●	●	●	●					2
水まわり	キッチンシステム	39	●	●	●	●					9
	浴室ユニット	41	●	●	●	●					6
	浴槽	43	●	●	●	●	○				8
	洗面化粧ユニット	44	●	●	●	●					3
	洗濯機用防水パン	45	●	●	●	●					5
	洗濯排水スリーブ	46	●	●	●	●					1
	洗濯機用サイホン排出管	47	●	—	—	—					1
	便器	48	●	●	●	●	●				2
	圧送便器	49	●	●	●	●					1
給湯機	ガス給湯機	50	●	●	●	●	●				10
	電気給湯機	52	●	●	●	●	○				2
	石油給湯機	53	●	●	●	●	●				1
	密閉式ふろがま	54	●	●	●	●					6
太陽エネルギー利用	太陽熱利用システム	55	●	○	●	●	●				17
	太陽熱利用システム（屋根下集熱方式）	57	—	—	—	●	●				1
	太陽熱利用システム（カスケード方式）	58	—	—	—	●	●				1
暖冷房・換気・融雪	家庭用ガスコージェネレーションシステム	59	—	—	●	●	●				15
	家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	60	—	—	●	●	●				16
	ハイブリッド給湯・暖房システム	61	●	●	●	●	●				2
	暖・冷房システム	62	●	●	●	●	●				33
	融雪システム	67	○	○	○	●					1
	換気ユニット	68	●	●	●	●					16
蓄電システム	家庭用据置型リチウムイオン蓄電システム	70	○	○	○	○					0
給水・排水	給水ポンプシステム	71	●	●	●	●					8
	配管システム	72	●	●	●	●					9
	基礎貫通排水管ユニット	73	●	●	●	●					1
テレビ・情報・防災機器	光配線システム機器	74	●	●	—	—					2
	テレビ共同受信機器	76	●	●	—	—					7
	住宅用火災警報器	79	●	●	●	●			●		4
	スプリンクラー設備	80	●	●	●	●					1
エレベーター	エレベーター（マシンルームレス型エレベーター）	81	●	—	—	—					15
	エレベーター（小規模共同住宅用エレベーター(単体)）		●	—	—	—					7
	エレベーター（階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路建物一体)		●	—	—	—					2
	エレベーター（階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路ユニット)		●	—	—	—					1
その他	床下点検口（気密・断熱型）	83	—	—	●	●					1
	床下換気用土台スペーサー	84	—	—	—	●					5
	樹脂製住宅用床束	85	—	—	●	●					1

最新情報は ＢＬ部品の特徴 検 索

「優良住宅部品（ＢＬ部品）の特徴」の見方

■品目タイトルへのマーク表示（図）は、次によっています。

一般のＢＬ部品として認定されているもの

ＢＬ-bs 部品として認定されているもの

一般のＢＬ部品とＢＬ-bs 部品の両方が認定されているもの

優良住宅部品の「ガス給湯機」は、都市ガス、液化石油ガスを燃料として浴槽、シャワー、洗面所および台所等への給湯ができる給湯機ユニットで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅 ○ 共同住宅（住戸部）
機能別	○ 給湯専用 ○ 給湯＋風呂加熱（追焚）
給湯熱効率	○ 一般型：瞬間式は 78%以上、貯湯式は 70%以上のもの ○ 高効率型(潜熱回収型)：排気ガス中の水蒸気が水に戻る際に放出する熱（潜熱）を回収して熱効率９０%以上に高めたタイプ
風呂加熱方式	○ 自然循環型（浴槽内の湯を自然対流によりに循環させて加熱するもの） ○ 強制循環型（浴槽内の湯をポンプを用いて強制的に循環させて加熱するもの） ○ 高温水供給型（浴槽内にごく少量の高温水を送水しながら加熱するもの）
設置場所・方式	○ 屋外設置（床置き、壁掛け、ＰＳ設置） ○ 屋内設置（床置き、壁掛け、浴室内据置、外壁貫通型（主に改修用）） ＊屋内設置については、給排気方式が密閉燃焼型（ＦＦ、ＢＦ式）に限られている。
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全に寄与：【省エネルギー】 ＊：高効率型(潜熱回収型)の認定品が対象です。

ＢＬ-bs 部品 高効率型(潜熱回収型)給湯機　　外壁貫通型給湯機　　給湯専用機

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】
・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。
・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。
○施工、メンテナンスが容易であるように、以下のような対策が講じられています。【独】
・建物の躯体に組み込むもの等については、機器本体及び給排気部の寸法を共通化しています。
（例：パイプシャフト設置型、壁組込形、外壁貫通設置形、浴室内据置型、その他屋内設置の機器等）
・機器の配管接続口径、配管接続位置（配列順）について共通化しています。
○機器の凍結を防止する対策が講じられています。【独】

■用途･種類
○認定部品の用途や性能、機能などの種類を記載しています。

■ＢＬ-bs 部品
○ＢＬ-bs 部品の該当する、よりよい社会の実現を先導する特長を記載しています。

■写真
○写真は、一例として記載しています。各認定企業の写真は、ＢＬホームページの「ＢＬ部品紹介ページ」を参照ください。

■特徴
○当該認定部品の持つ特徴を記載しています。説明文の文末にある記号は、次によっています。
【独】：BL 独自の要求性能を具備しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの
【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの

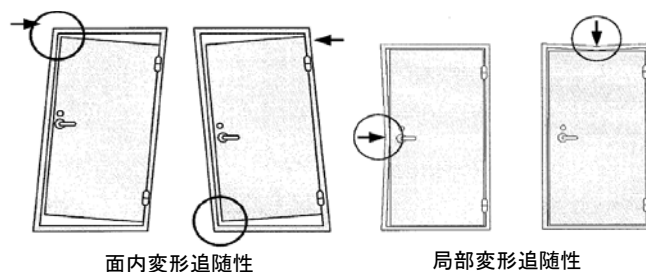
玄関ドア

優良住宅部品の「玄関ドア」は、住宅に使用する玄関ドアで、次のようなものがあります。また、地震等により建物が変形しても扉の開閉ができる「建物変形対応ドア」*1 もあります。

設置対象建物		○共同住宅（住戸部）、戸建住宅*2
開閉形式		○開き戸、引き戸
ドア仕上げ		○現場仕上げ（塗装）、工場仕上げ（焼付け塗装、化粧鋼板）
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4（引き戸は除く）　（等級は JIS A4702：2000 による）
	水密性	○W-1 又は表示なし　（等級は JIS A4702：2000 による）
	耐風圧性	○S-6　（等級は JIS A4702：2000 による）
ＢＬ-bs 部品の特長		○環境の保全【省エネルギー】
		○防犯性の向上【侵入抵抗・高】（ＣＰ*4錠を使用した場合が対象です）
		○高齢者等への配慮【バリアフリー】 次のものが対象です。 ・800 mm以上の有効開口を確保し、床との段差を外部 20 mm以下・内部 5 mm以下にして、車椅子の通行にも考慮しています。（品確法*3の等級 5 相当） ・錠前は、BL 認定部品の玄関ドア用錠前（レバーハンドル錠又はプッシュプルハンドル錠）が使われます。

開き戸

引き戸

＊1：「建物変形対応ドア」は、ドア枠の上端の両方向から荷重を加え変形させたときの面内変形追随性及び縦、横のドア枠中央に荷重を加え変形させたときの局部変形追随性を有し、枠と扉の接触を緩和し、軽い力（500Ｎ以下）で扉を開放することができるドアです。

＊2：平成 27 年 4 月 1 日現在、木造の住宅に取付け可能な認定部品はありません。
＊3：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（平成 21 年改訂）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

〇断熱に係る対策が講じられています。

・熱貫流率 U 値は U≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）を確保しています。【超】

〇遮音に係る対策が講じられています。

・100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が、20dB 以上のものと 25dB 以上のものがあります。【独】

〇防犯性能を確保しています。

・防犯性能を高めた防犯建物部品[*4]で、錠前も防犯建物部品を使用しています。【超】

＊4 :「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

〇ドアのねじり強さ・吊り下げ強さ・耐衝撃性などの強度を確認しています。【超】

〇ドアの開閉繰り返しに対して十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。
（開閉繰り返し 20 万回の試験を実施）【超】

〇錠前（プッシュプルハンドル錠は除く）とドア・クローザの取り付け位置が標準化されています。【独】

〇ドア仕上げは、現場仕上げ（塗装）、工場仕上げ（焼付け塗装、化粧鋼板）のどちらか、さらに扉の表面を豊かにする化粧モールを取付けたものなど、豊富なバリエーションの中から選択できます。【独】

改修用玄関ドア

優良住宅部品の「改修用玄関ドア」は、共同住宅の既存鋼製玄関ドアの改修に使用する玄関ドアで、次のようなものがあります。また、地震等により建物が変形しても扉の開閉ができる「建物変形対応ドア」*1 もあります。

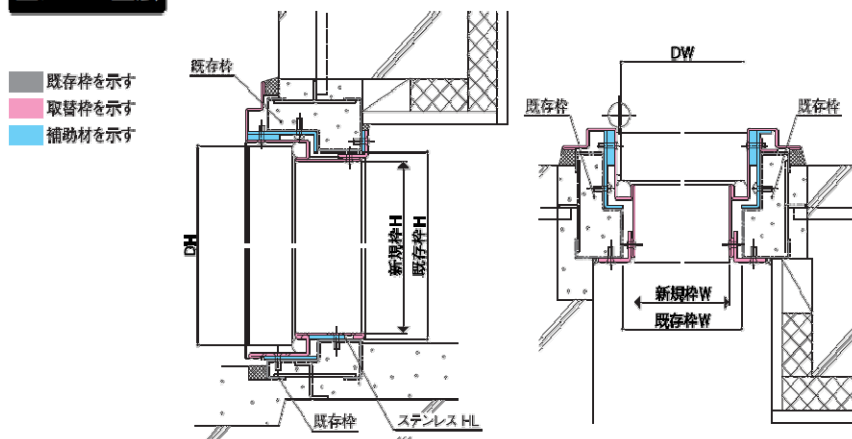
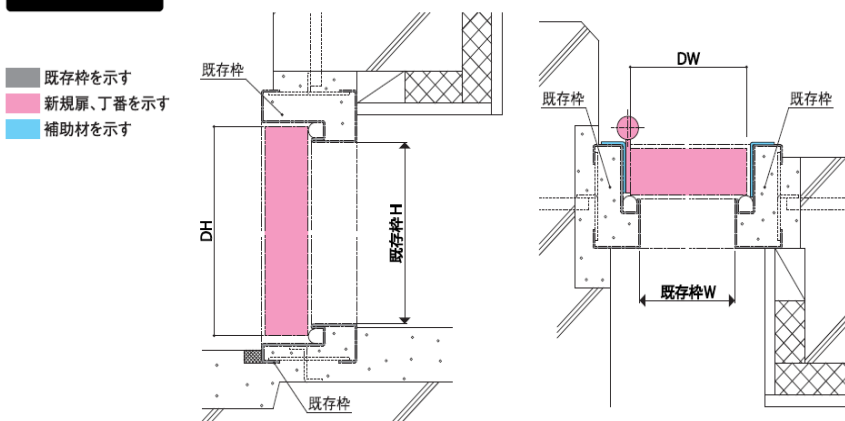
設置対象建物		○既存 RC 造共同住宅（住戸部）
改修対象ドア		○片開き玄関ドア
ドア仕上げ		○現場仕上げ（塗装）、工場仕上げ（焼付け塗装、化粧鋼板）
工法	引抜き工法	○既存の玄関ドア枠を躯体から撤去し、ホールインアンカーや補強材等を用いて玄関ドアを躯体に固定する工法
	カバー工法	○既存鋼製玄関ドアの扉のみを撤去し、既存枠にねじで補強材等を用いて玄関ドアを固定する工法
	持出し工法	○既存鋼製玄関ドアの扉のみを撤去し、既存枠にねじで補強材等を用いて玄関ドアを固定する工法で、玄関ドア枠を外部に持出して取付ける工法
	扉交換工法	○既存枠が気密枠の場合：既存鋼製玄関ドアの扉のみを撤去し、既存枠にねじで補強材等を用いて交換扉を固定する工法 ○既存枠が気密枠の場合：既存鋼製玄関ドアの扉のみを撤去し、既存枠又は交換扉に気密材を取付け、既存枠にねじで補強材等を用いて交換扉を固定する工法
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4　（等級は JIS A4702：2000 による）
	水密性	○W-1 又は表示なし　（等級は JIS A4702：2000 による）
	耐風圧性	○S-6　（等級は JIS A4702：2000 による）
ＢＬ-bs 部品の特長		○ストック活用【既存枠継続利用】
		○環境の保全【省エネルギー】
		○防犯性の向上【侵入抵抗・高】　防犯建物部品*2 が対象です
		○高齢者等への配慮【バリアフリー】 次のものが対象です。 ・800 ㎜以上の有効開口を確保し、床との段差を外部 20 ㎜以下・内部 5 ㎜以下にして、車椅子の通行にも考慮しています。（品確法*3 の等級 5 相当） ・錠前は、BL 認定部品の玄関ドア用錠前（レバーハンドル錠又はプッシュプルハンドル錠）が使われます。

＊1：「建物変形対応ドア」は、ドア枠の上端の両方向から荷重を加え変形させたときの面内変形追随性及び縦、横のドア枠中央に荷重を加え変形させたときの局部変形追随性を有し、枠と扉の接触を緩和し、軽い力（500Ｎ以下）で扉を開放することができるドアです。

面内変形追随性

局部変形追随性

＊2：「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

＊3：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（平成 21 年改訂）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○玄関ドアの断熱性、気密性、遮音性等が向上します。

・断熱性 : 熱貫流率 U 値は U≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）を確保しています。【超】

・遮音性 : 100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が、20dB 以上のものと 25dB 以上のものがあります。【独】

○錠前は高齢者等が操作しやすい、レバーハンドル錠やプッシュプル錠を使用しています。【独】

○ドアのねじり強さ・吊り下げ強さ・耐衝撃性などの強度を試験により確認しています。【超】

○ドアの開閉繰り返しに対して十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。
（開閉繰り返し 20 万回の試験を実施）【超】

○錠前、ドア・クローザはＢＬ認定部品を使用しています。【独】

○錠前（プッシュプルハンドル錠は除く）とドア・クローザの取り付け位置が標準化されています。【独】

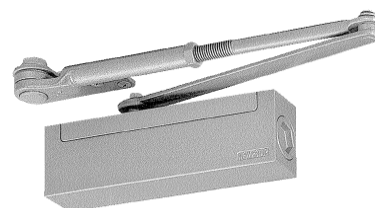
○ドア仕上げは、焼付け塗装又は化粧鋼板のどちらか、さらに扉の表面を豊かにする化粧モールを取り付けたものなど、豊富なバリエーションの中から選択できます。【独】

○施工時間が短く、住みながらの改修施工が可能です。【独】
（標準的な施工時間の目安は、1 ドアあたり約 1 時間（引抜き工法は除く））

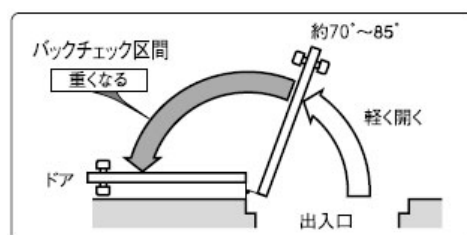
ドア・クローザ

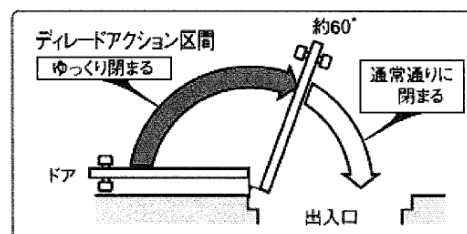
優良住宅部品の「ドア・クローザ」は、住宅のドアに使用するもので、次のようなものがあります。

<table>
<tr><td colspan="3">設置対象建物</td><td>○共同住宅、戸建住宅</td></tr>
<tr><td rowspan="6">設置対象ドア</td><td rowspan="4">玄関ドア（開き戸）</td><td>Ⅰ　型</td><td>○共同住宅で防火戸としての玄関ドアに用いるドア・クローザ
取付が想定されるドア寸法は W800～900 mm×H1800～2000 mmで、ドア重量は 15～50kg 程度</td></tr>
<tr><td>Ⅰ－S 型</td><td>○共同住宅で防火戸を必要としない玄関ドアに用いるストップ機能を有するドア・クローザ
取付が想定されるドア寸法は W800～900 mm×H1800～2000 mmで、ドア重量は 15～50kg 程度</td></tr>
<tr><td>Ⅱ　型</td><td>○共同住宅の防火戸としての玄関ドアに用いるドア・クローザで、バックチェック機能*1 を有するもの
取付が想定されるドア寸法は W800～850 mm×H1800～2000 mmで、ドア重量は 50～55kg 程度の鋼製ドア</td></tr>
<tr><td>Ⅱ－D 型</td><td>○Ⅱ型にディレードアクション機能*2 を有するもの
ディレードアクション機能はディレード時間の調整、及び機能の解除ができるものとする</td></tr>
<tr><td colspan="2">玄関ドア（引き戸）</td><td>○車椅子使用者に配慮した共同住宅の防火戸で開閉形式が引き戸タイプに用いる引き戸用ドア・クローザ
取付が想定されるドアは、有効開口寸法が 850 mm×2000 mmで、ドア重量は 60kg 程度の鋼製ドア。「長寿社会対応ドア・クローザ」に適合</td></tr>
<tr><td colspan="2">内装ドア</td><td>○住宅の内装ドアに使用するドア・クローザ</td></tr>
</table>

玄関ドア用ドア・クローザ

内装ドア用ドア・クローザ

＊1：バックチェック機能

ドア開き方向に強風や外力が加わったとき、ドア開き角度 70°～85°で油圧が働き急激にドアが開くことを制御する機能です。制御区間内は油圧が働き多少重くなりますが、ゆっくり開くことができます。

＊2：ディレードアクション機能

通常の開き角度から 60°までゆっくり閉まり高齢者、身障者や荷物の搬入時の通行に配慮した機能です。それ以降は通常の速度で閉扉します。

玄関ドア（引き戸）用ドア・クローザ

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

〇事故防止対策が講じられています

・－10℃及び 35℃の環境下においても、通常時（20℃）と比較して極端なスピードの変化がないものとなっています。【独】

・ディレードアクション機能のないものは、通常の開扉状態から閉扉までの時間を 5～8 秒に設定しています。【独】

・玄関ドア用は、荷重値 150N/㎡（風速換算約 15.6m/sec）において、開き角度 20°の状態から閉扉までの時間を 0.8 秒以上に設定しています。【独】

・内装ドア用は、荷重値 50N/㎡（風速換算約 9.2m/sec）において、開き角度 20°の状態から閉扉までの時間が著しく早くならないように設定しています。【独】

〇ドアの開閉繰り返しに対し、十分な耐久性を有していることを確認しています
（開閉繰り返し試験（玄関ドア用 20 万回、内装ドア用 10 万回）を実施）【超】

〇管理者による調整を前提に、特殊な工具以外ではドアの閉まり速度が調整できないようにしています。【独】

〇ＢＬ認定の玄関ドアと取付け上のインターフェースが確保されています。【独】
（取付け位置が標準化されています。）

玄関ドア用錠前

優良住宅部品の「玄関ドア用錠前」は、住宅の玄関ドアに使用する錠前で、次のようなものがあります。

<table>
<tr><td colspan="2">設置対象建物</td><td colspan="3">○共同住宅（住戸部）、戸建住宅</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハンドル形状
（開き戸用）</td><td colspan="3">○レバーハンドル
○プッシュプルハンドル（グリップハンドルを含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">玄関ドア開き形式</td><td rowspan="5">開き戸用</td><td rowspan="2">面付箱錠</td><td>主錠（デッドボルト＋ラッチボルト）</td><td rowspan="6">サムターン付き
シリンダー錠</td></tr>
<tr><td>補助錠（デッドボルト）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">彫込箱錠</td><td>主錠（デッドボルト＋ラッチボルト）</td></tr>
<tr><td>主錠（デッドボルト＋ラッチボルト）
＋補助錠（デッドボルト）</td></tr>
<tr><td>補助錠（デッドボルト）</td></tr>
<tr><td>引戸用</td><td>彫込箱錠</td><td>主錠（デッドボルト）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＬ-bs 部品の特長</td><td colspan="3">○防犯性の向上【侵入抵抗・高】
防犯建物部品が対象です。＊</td></tr>
</table>

＊：「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。
「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

面付箱錠（レバーハンドル）

彫込箱錠（レバーハンドル）

引戸用彫込箱錠

彫込箱錠
（グリップハンドル）

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○高齢者でも操作しやすいように、大型レバーハンドル、大型サムターン、大型キーヘッドを採用しています。【超】

○レバーハンドルタイプは、ＢＬ認定玄関ドアと取付け上のインターフェースが確保されています。【独】（取付け位置が標準化されています。）

○シリンダー交換をすることなく、別形状のキー（チェンジキー：従前のキーをリセットするキー）を差込むことで、新たに差し込んだキーのみが使用できる「チェンジキー装置」を選択することができます。【独】
※平成 27 年 4 月 1 日現在、チェンジキー装置付の認定部品はありません。

宅配ボックス

優良住宅部品の「宅配ボックス」は、留守時に配達される宅配物を一時的に受け取り、保管でき、どの宅配業者でも利用できるオープンなボックスです。宅配ボックスには次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（共用部）、事務所及び学校に設置が可能
設置場所型式	○屋内設置型【住棟内の共有部分（エントランス）又は、これに類する場所で、雨水のかからない部分に設置するもの】 ○屋外設置型*1【住棟内の共有部分（エントランス）又は、これに類する場所で、雨水のかかる恐れのある部分に設置するもの】
設置方式	○据置型【壁面に沿って設置する形式】 ○壁埋込型【壁面の開口に埋め込み】
管理方式	○自主管理型【集合住宅の管理者等が管理を行うもの】 ○集中管理型【宅配ボックスのメーカー等により、電話回線等（専用線を含む）を使用して集中的に管理を行うもの】
操作方式	○電気制御式【外部電源を利用し、マイコン等の操作により施解錠をコントロールするもの】 ○機械式【主として鍵（ダイヤル式、テンキー式）により扉の施解錠を行うもの】
受渡方式	○受取専用型【無人で配達物の受取のみが行えるもの】 ○受取・発送型【無人で配達物の受取及び発送が行えるもの】

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定品はありません。

自主管理型機械式（ダイヤル式）設置例

集中管理型電気制御式設置例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○誤って人が閉じ込められた場合でも、通気が確保でき、内部から扉が開けられる構造となっています。【独】

○電気制御式のものについては、絶縁性、耐電圧性、電圧変化等について、電気用品安全法の省令を満たすもので、電気的な安全性が確保されています。【確】

○標準化対応宅配ボックスの外形寸法は、保管箱のユニット（1 列）当たりの外形寸法が 500mm(W)×1,800mm(H)×600mm(D)に標準化されており、取替えや更新にも最適です。【独】

郵便受箱

優良住宅部品の「郵便受箱」は、戸建住宅向けの 1 戸用から共同住宅向けに複数戸分を一体にしたもの又は一戸用を連結して集合したものなど、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（共用部）の他、事務所、老人ホーム、学校及び店舗へ設置が可能		
投入郵便物サイズ、郵便受箱形状等	規格型	Ａ４用標準化対応郵便受箱*1	A4 サイズ[297mm×210mm]の投入物が投入口から収納可能 複数戸を一体としたもので、外形寸法を標準化した郵便受箱
		角２用標準化対応郵便受箱*2	角 2 封筒[332mm×240mm]の投入物が投入口から収納可能 複数戸を一体としたもので、外形寸法を標準化した郵便受箱
	自由型	標　準	A4 サイズ[297mm×210mm]の投入物が投入口から収納可能 自由な形状・寸法及び組合せの郵便受箱
		大型対応	大型郵便物[350mm×250mm×30mm]が投入口から収納可能 自由な形状・寸法及び組合せの郵便受箱
対象収納郵便物	○Ａ４用　【A4 サイズまでの郵便物の収納が可能】 ○角 2 封筒用【角２封筒までの郵便物の収納が可能】 ○寸法フリー標準【最低 A4 サイズまでの郵便物の収納が可能】 ○寸法フリー大型対応【大型郵便物(350mm×250mm×30mm)の収納が可】		
投入・取出方向	○前入・後出【郵便物を前面の投入口から投入し後面の取出扉から取出すもの】 ○前入・前出【郵便物を前面の投入口から投入し前面の取出扉から取出すもの】		
設置場所	○屋内設置用【日射にさらされず、雨水のかからない場所に設置するもの】 ○屋外設置用【日射にさらされ、雨水のかかる場所に設置するもの】		
設置方式	○壁付型【躯体等の壁面上にカールプラグ等で設置するもの】 ○壁埋込型【躯体等の壁面に埋め込んで設置するもの】 ○壁貫通型【躯体等の壁面を貫通して設置するもの】		
施錠方式	○空錠【南京錠等(別途購入)を使って施錠できるよう取付金具を装備したもの】 ○ラッチ錠【つまみ兼用の簡易錠で南京錠等(別途購入)を使って施錠できるもの】 ○ダイヤル錠【既定の暗証番号に従ってダイヤル部を左右に回転させて施解錠するもの】 ○プッシュ錠【既定の暗証番号に従ってボタンを押して施解錠するもの】 ○シリンダー錠【シリンダー部に専用の鍵を差し込み、回転させて解錠施錠するもの】 空錠　ラッチ錠　ダイヤル錠　プッシュ錠　シリンダー錠		

1戸用/前入・前出

1戸用/前入・後出

共同住宅設置例(壁埋込型)

縦型

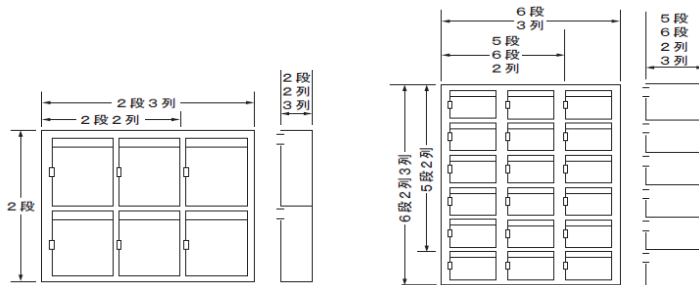
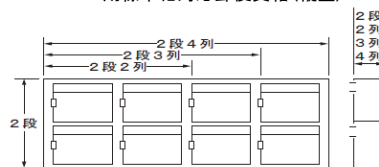
横型

標準化対応郵便受箱

投入口側　　取出扉側

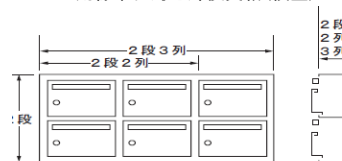
３戸一体タイプ/前入・後出

＊１：「Ａ４用標準化対応郵便受箱」
　　の組合せ寸法・構成　（単位 mm）

構　成		幅(W)	高さ(H)	奥行(D)
縦　型	２段２列	500	690	150
	２段３列	740	690	150
	５段２列	494	858	300
	６段２列	494	1,026	300
	６段３列	732	1,026	300
横　型	２段２列	654	514	140
		690	500	150
	２段３列	972	514	140
		1,026	500	150
	２段４列	1,290	514	140
		1,362	500	150

Ａ４用標準化対応郵便受箱（縦型）

Ａ４用標準化対応郵便受箱（横型）

＊２：「角２用標準化対応郵便受箱」
　　の組合せ寸法・構成　（単位 mm）

構　成		幅(W)	高さ(H)	奥行(D)
横　型	２段２列	760	520	150
	２段３列	1,140	520	150

角２用標準化対応郵便受箱

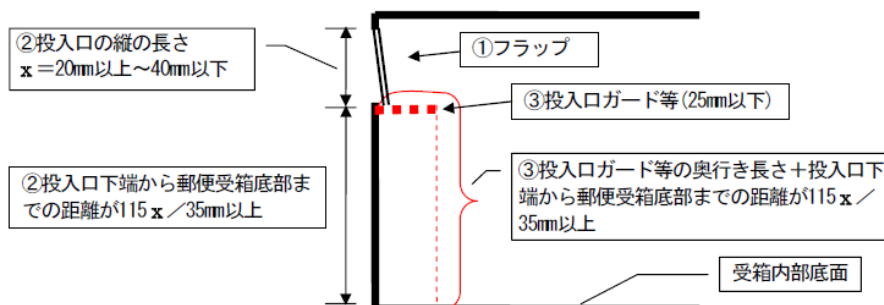
■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○郵便受箱の扉は、十分な強度を持ったものであることが、試験により確認されています。【独】
（扉の強度試験を実施：扉の先端に 100N の荷重を加え、24 時間放置後に使用上支障のあるガタツキ、変形、破損等がないことを確認）

○郵便受箱の施錠装置は、十分な強度を持ったものであることが、試験により確認されています。【独】
（施錠した状態で扉の上端に 300N の荷重を加えたとき、扉が開かず、使用上支障のある著しい変形がないことを確認）

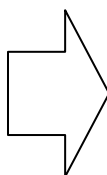
○屋外設置用については、雨水の排水ができる構造となっています。【独】

○投入された郵便物を保護するため、下図の①、②、③のいずれかを満たした形状となっています。【超】

○標準化対応郵便受箱は、昭和５０年代までに建設された中低層集合住宅に多く採用された郵便受箱と本体寸法や配列、取付寸法に互換性を持つため、取替え・更新に最適です。【独】

プレスドア専用改修用扉

優良住宅部品の「プレスドア専用改修用扉」は、気密材の付いていない鋼板製片面プレスドアの既存枠を利用して扉のみを交換するもので、次のようなものがあります。

設置対象建物		○既存 RC 造共同住宅（住戸部）、既存 RC 造戸建住宅
扉交換工法		○既存鋼製プレスドアの扉のみを撤去し、既存枠にねじで補強材等を用いて気密材付き交換扉を固定する工法
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4　（等級は JIS A4702：2000 による）
	水密性	○W-1 又は表示なし　（等級は JIS A4702：2000 による）
	耐風圧性	○S-6　（等級は JIS A4702：2000 による）
ＢＬ-bs 部品の特長		○住宅ストックの形成・活用【既存枠継続利用】

改修前

改修後

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○改修用扉は気密材付きですので、既存の普通枠に取付けても、玄関ドアに求められる断熱性、気密性、遮音性等が向上します。

・断熱性：熱貫流率 U 値は U≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）を確保しています。【超】

・遮音性：100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が、20dB 以上のものと 25dB 以上のものがあります。【独】

○錠前は高齢者等が操作しやすいレバーハンドル錠やプッシュプル錠を使用しています。【独】

○ドアのねじり強さ・吊り下げ強さ・耐衝撃性などの強度を試験により確認しています。【超】

○ドアの開閉繰り返しに対して十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。【超】

・開閉繰り返し 20 万回の試験を実施

○錠前、ドア・クローザはＢＬ認定部品を使用しています。【独】

○施工時間が短く、住みながらの改修施工が可能です。【独】

（標準的な施工時間の目安は、1 ドアあたり約 1 時間）

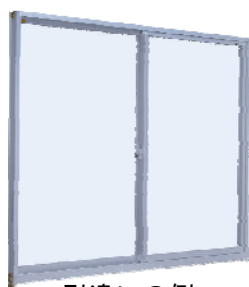
サッシ

優良住宅部品の「サッシ」は、住宅の垂直壁に取り付く窓又はサッシで、次のようなものがあります。

設置対象建物		○共同住宅、戸建住宅*1
構成	窓	○ガラスを構成部品とするもの
	サッシ	○ガラスを構成部品としないもの
開閉形式	引き形式	○引違い・片引き・引分け・上げ下げ
	開き形式	○内倒し・片開き・両開き・すべり出し・たてすべり出し・片開きドア
	固定形式	○固定（FIX）
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4　（等級は JIS A4706：2000 による）
	水密性	○W-4 又は W-5　（等級は JIS A4706：2000 による）
	耐風圧性	○S-4～S-7　（等級は JIS A4706：2000 による）
ＢＬ-bs 部品の特長		○環境の保全【省エネルギー】 窓及びサッシの内、熱貫流率 U≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）以上のものが対象です。
		○高齢者等への配慮【バリアフリー等】 800 mm以上の有効開口を確保し、床との段差を外部 20 mm以下・内部 5 mm以下にして、車椅子の通行に考慮しているものが対象です。（品確法*2 の等級 5 相当）
		○防犯性の向上【侵入抵抗・高】 防犯建物部品が対象です。*3

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在木造の住宅に取付け可能な認定部品はありません。

＊2：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（平成 21 年改訂）

＊3：「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。
「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

引違いの例

内倒しの例

すべり出しの例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○断熱に係る対策が講じられています。

・窓及び断熱サッシは、熱貫流率 U 値は U≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）を確保しています。【超】

○遮音に係る対策が講じられています。

・100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が、21dB 以上のものと 25dB 以上のものがあります。【独】

○開閉繰り返しに対して十分な耐久性を有していることを第三者試験機関で確認しています。

・開閉繰り返し試験（出入り口用は 3 万回、出入り口以外は 1 万回）を実施【超】

○サッシの枠には、一般枠・面付け枠・ＡＬＣ用枠等があり、様々な建物の構造に対応できます。【独】

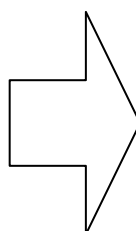
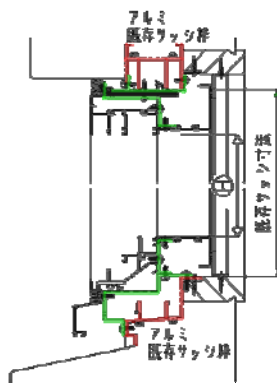
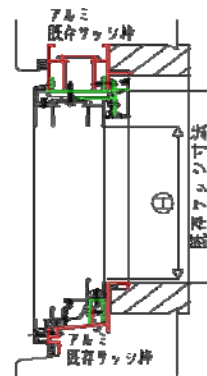
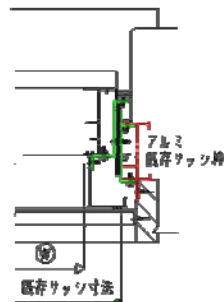
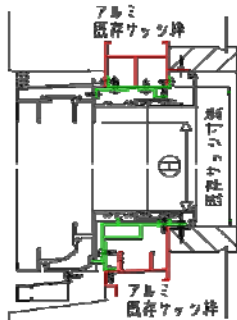
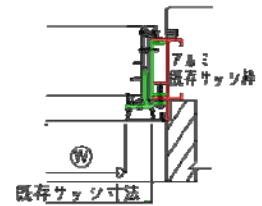
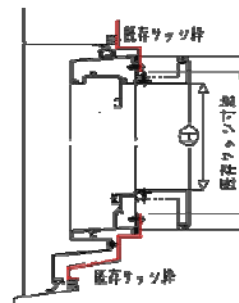
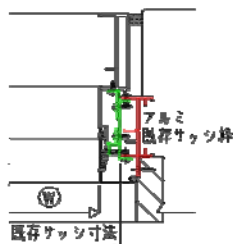
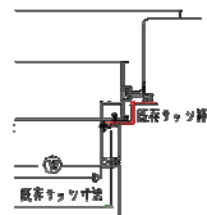
改修用サッシ

優良住宅部品の「改修用サッシ」は、ＲＣ造住宅の既存サッシの改修に使用するもので、次のようなものがあります。

設置対象建物		○既存ＲＣ造共同住宅、既存 RC 造戸建住宅
構成	窓	○ガラスを構成部品とするもの
	サッシ	○ガラスを構成部品としないもの
工法	引抜き工法	○既存のサッシ枠を躯体から撤去し、ホールインアンカーや補強材等を用いてサッシ又は窓を躯体に固定する工法
	カバー工法	○既存の障子部分だけを撤去し、既存枠の上に溶接又はねじにより補強材等を用いてサッシ又は窓を固定する工法
	カバーⅡ工法	○開閉形式が引き形式のもので、躯体との取合い部にタイト材を使用したシールを必要としないカバー工法（カバー工法に比べ狭まり寸法を少なくすることができます。）
	持出し工法	○基本的にはカバー工法と同様で、サッシ又は窓枠を外部に持出して取付ける工法
	ノンシール工法	○カバー工法の一種で、サッシ又は窓と躯体にできる隙間をサッシ又は窓に予め取付けてあるタイト材で塞ぐことにより、シールを必要としない工法（浴室・便所等の小口開口部に取付くサッシ又は窓の改修に適しています。）
開閉形式	引き形式	○引違い・片引き・引分け・上げ下げ
	開き形式	○内倒し・片開き・両開き・すべり出し・たてすべり出し・片開きドア
	固定形式	○固定（FIX）
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4（等級は JIS A4706：2000 による）
	水密性	○W-4 又は W-5（等級は JIS A4706：2000 による）
	耐風圧性	○S-4～S-7（等級は JIS A4706：2000 による）
ＢＬ-bs 部品の特長		○ストック活用【既存枠継続利用】
		○環境の保全【省エネルギー】 窓及びサッシの内、熱貫流率 U≦4.65（単位は、W/(m^2·K)）以上のものが対象です。
		○高齢者等への配慮【バリアフリー等】 800 mm以上の有効開口を確保し、床との段差を外部 20 mm以下・内部 5 mm以下にして、車椅子の通行に考慮しているものが対象です。（品確法[*1]の等級 5 相当）
		○防犯性の向上【侵入抵抗・高】 防犯建物部品が対象です。[*2]

＊1：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（平成 21 年改訂）

＊2：「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

改修前

改修後

カバー工法の例　　カバーⅡ工法の例

持出し工法の例　　ノンシール工法の例

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○開口部の気密性、水密性、耐風圧性、断熱性、遮音性等が向上します。

・断熱性：窓及び断熱サッシは、熱貫流率U値はU≦4.65（単位は、W/(㎡･K)）を確保しています。【超】

・遮音性：100～2,500Hzの範囲の1/3オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が、21dB以上のものと25dB以上のものがあります。【独】

○開閉繰り返しに対して十分な耐久性を有していることを第三者試験機関で確認しています。

・開閉繰り返し試験（出入り口用は3万回、出入り口以外は1万回）を実施【超】

○施工時間が短く、住みながらの改修施工が可能です。【独】

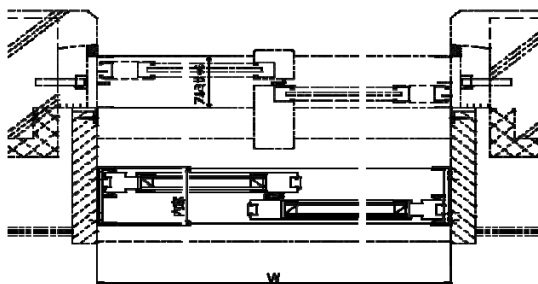
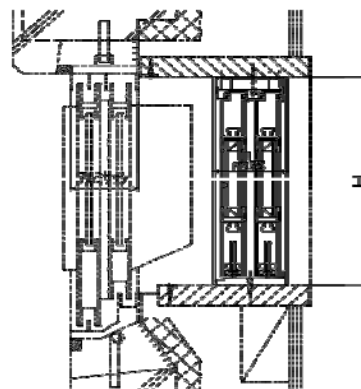
（標準的な施工時間の目安は、1窓あたり約1時間（引抜き工法は除く））

内窓

優良住宅部品の「内窓」は、外窓の内側に取り付ける窓で、次のようなものがあります。

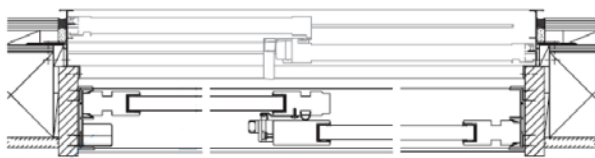
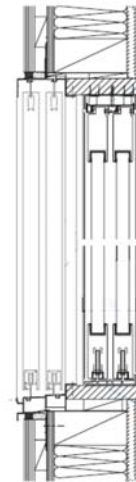
設置対象建物		○戸建住宅、共同住宅
設置場所		○外窓の内側
材質		○樹脂製、木製
開閉形式	引き形式	○引違い、片引き、引分け
	開き形式	○内倒し、内開き
	固定形式	○固定（FIX）
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4 （等級は JIS A4706：2000 による）
	遮音性	○5 ㎜ガラスの場合、100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が 18dB 以上
ＢＬ-bs 部品の特長		○環境の保全【省エネルギー】

樹脂製内窓施工例

断面写真（樹脂製の例）

よこ断面図（樹脂製の例）

たて断面図（樹脂製の例）

標準納まり参考図【樹脂製の場合】

木製内窓施工例

断面写真（木製の例）

よこ断面図(木製の例)

たて断面図
(木製の例)

標準納まり参考図【木製の場合】

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○開口部の断熱性能が向上します。

・内窓の断熱性能は、内窓を取付け二重窓とした時の熱貫流抵抗と外窓単独の熱貫流抵抗との差（内窓による増分）が、単板ガラスの場合⊿R≧0.061 以上、複層ガラスの場合⊿R≧0.072 以上(単位は、㎡・K/W)【超】

○外部窓と合せて二重窓となることで遮音性能が向上します。【超】

○外窓のガラス仕様(単板ガラス又は複層ガラス)別及び内窓を設置することによる熱貫流抵抗の増分ランク別に、省エネ基準*[1]に適合して優良住宅部品として使用できる地域区分を明確にした情報が提供されます。【独】

＊1 :「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断と基準」(平成 11 年 3 月改正告示)

外窓と合せて二重窓とした時の、ランク別に必要な内窓の熱貫流抵抗の増分⊿R

ランク	内窓を設置することによる熱貫流抵抗の増分⊿R*[2]	
	外窓のガラス仕様	
	単板ガラス	複層ガラス
1	0.276≦⊿R	0.215≦⊿R
2	0.133≦⊿R	0.072≦⊿R
3	0.061≦⊿R	―

単位：⊿R：単位（㎡・K/W)

省エネ基準に適合して使用できる地域別、外窓のガラス仕様別の内窓の断熱性能

ランク	外窓のガラス仕様	
	単板ガラス	複層ガラス
1	全国	
2	Ⅲ～Ⅵ地域	
3	Ⅳ～Ⅵ地域	

単位：⊿R：単位（㎡・K/W)

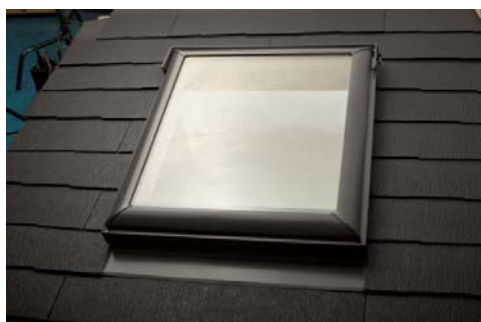
○新築・改修に係らず施工時間が短く、改修の場合でも住みながらの施工が可能です。【独】
(標準的な施工時間の目安は、1 窓あたり約 1 時間)

○改修の場合、既設の外窓はそのまま使用しますのでスクラップの発生が少ない環境にやさしい工法です。【独】

○改修の場合、額縁が狭くて設置できない場合でも、付額縁をすることにより設置が可能となっています。【独】

サッシ（天窓）

優良住宅部品の「サッシ（天窓）」は、採光・採風のために住宅等の屋根に取り付ける窓で、次のようなものがあります。

設置対象建物		○戸建住宅、共同住宅、学校、幼稚園、保育園、店舗、ホテル又は旅館
設置場所		○屋根
材質		○木製（外部をアルミ材でカバー）、アルミ製
開閉形式	開き形式	○突出し、軸回転　（手動式又は電動式）
	固定形式	○固定
性能等級等	気密性	○A-3 又は A-4 （等級は JIS A4706：2000 による）
	水密性	○W-4 又は W-5 （等級は JIS A4706：2000 による）
	耐風圧性	○S-4～S-7 （等級は JIS A4706：2000 による）

設置例

開き形式（突出し）の例

開き形式（軸回転）の例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○断熱性能（熱貫流率 U≦2.91（単位は、W/(㎡･K)））を確保しています。【超】

○遮音性能（100～2,500Hz の範囲の 1/3 オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値が 25dB 以上）を確保しています。【独】

○耐積雪荷重に対して、600Pa（600Ｎ/㎡）で破壊しないことを確認しています。【超】

○電動で開閉する製品は、降雨時に自動で閉まる雨センサーを取付けています。【独】

○天窓と屋根の取合い部の防水は、施工説明書に基づき確実に行うことが必要です。

面格子

優良住宅部品の「面格子」は、住宅の窓に取り付ける面格子です。

設置対象建物		○共同住宅(住戸部)、戸建住宅
格子の種類		○縦格子、横格子、異形格子、可動ルーバー
非常時の開放機能	○なし	格子が固定されたもの
	○あり	非常開放型【非常時に面格子の一部又は全体が開放でき、人の脱出が可能なもの】
ＢＬ-bs 部品の特長		○防犯性の向上【侵入抵抗・高】 「防犯建物部品」*1が対象です。

＊1：「防犯建物部品」とは、官民合同会議の求める防犯性能（5 分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能）を有するものとして、同会議に登録された部品です。「ＣＰマーク」に優良住宅部品として備えるべき防犯性能以外の性能を総合的に有することを現す「BL-bs マーク」とを一体化したマークが表示されています。

縦格子の例

可動ルーバー格子例

非常開放型例

非常開放型可動ルーバー例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○通常の使用において想定される各種の荷重に対して、本体・取付金物が十分な強度を有していることを試験により確認しています。【独】

・面格子本体は 1000N、格子は 600N の荷重に耐えるものとなっています。

・取付金物は 1000N の荷重に耐えるものとなっています。

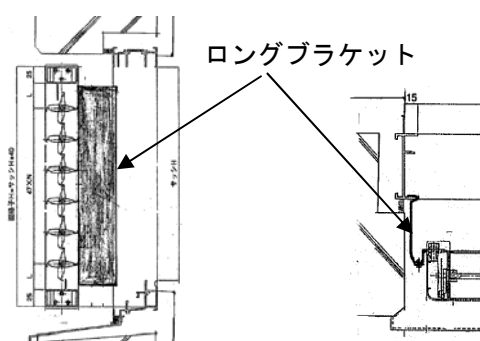
○可動ルーバーは開閉の繰返しに対し、十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。【独】

・開閉繰り返し試験（10,000 回）を実施

○非常開放型のものは、室内側からでないと開放できないようになっています。【独】

○非常開放型のものは、操作部が高齢者や児童が容易に操作できるものとなっています。【独】

○窓の外部の躯体にアンカーを打たずにサッシ枠にロングブラケット（サッシ竪枠と同じ長さの通し材）で固定する方法*2のものもあります。

○「防犯ＢＬ-bs 部品」は、犯罪行為で壊された場合に交換等に要した費用の一部を所有者に支援する制度です。詳しくは本書の３頁を参照ください。

＊2：サッシ枠に固定した例

墜落防止手すり

優良住宅部品の「墜落防止手すり」は、主としてＲＣ造住宅の共用廊下、バルコニー、窓に設置する墜落防止を目的とした手すりで、次のようなものがあります。また、改修用としても用いることができます。

設置対象建物	○共同住宅、戸建住宅
設置場所*1	○廊下用、バルコニー用、窓用、トップレール
設置方式	○床支持、方立支持、壁支持、腰壁支持

＊1：トップレール以外は、ＲＣ造の住宅にのみ取付けが可能です。

【床支持】　【方立支持】　【壁支持】

廊下、バルコニーの設置形式

トップレール【腰壁支持】

【窓用手すり】

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○通常の使用において想定される各種の荷重（下表）に対して、手すり本体に破壊が無いこと及び取付金物の躯体取付部等に破壊が無いことを試験により確認しています。【独】

荷重	廊下用(300 型)	バルコニー用(150 型)	窓用	トップレール
水平荷重	2,950N/m	1,450N/m	1,450N/スパン	980N/本 《1,100N/本》*2
鉛直荷重	1,600N/m （1,150N/m）*3	1,600N/m （1,150N/m）*3	1,450N/スパン	1,600N/m （1,150N/m）*3

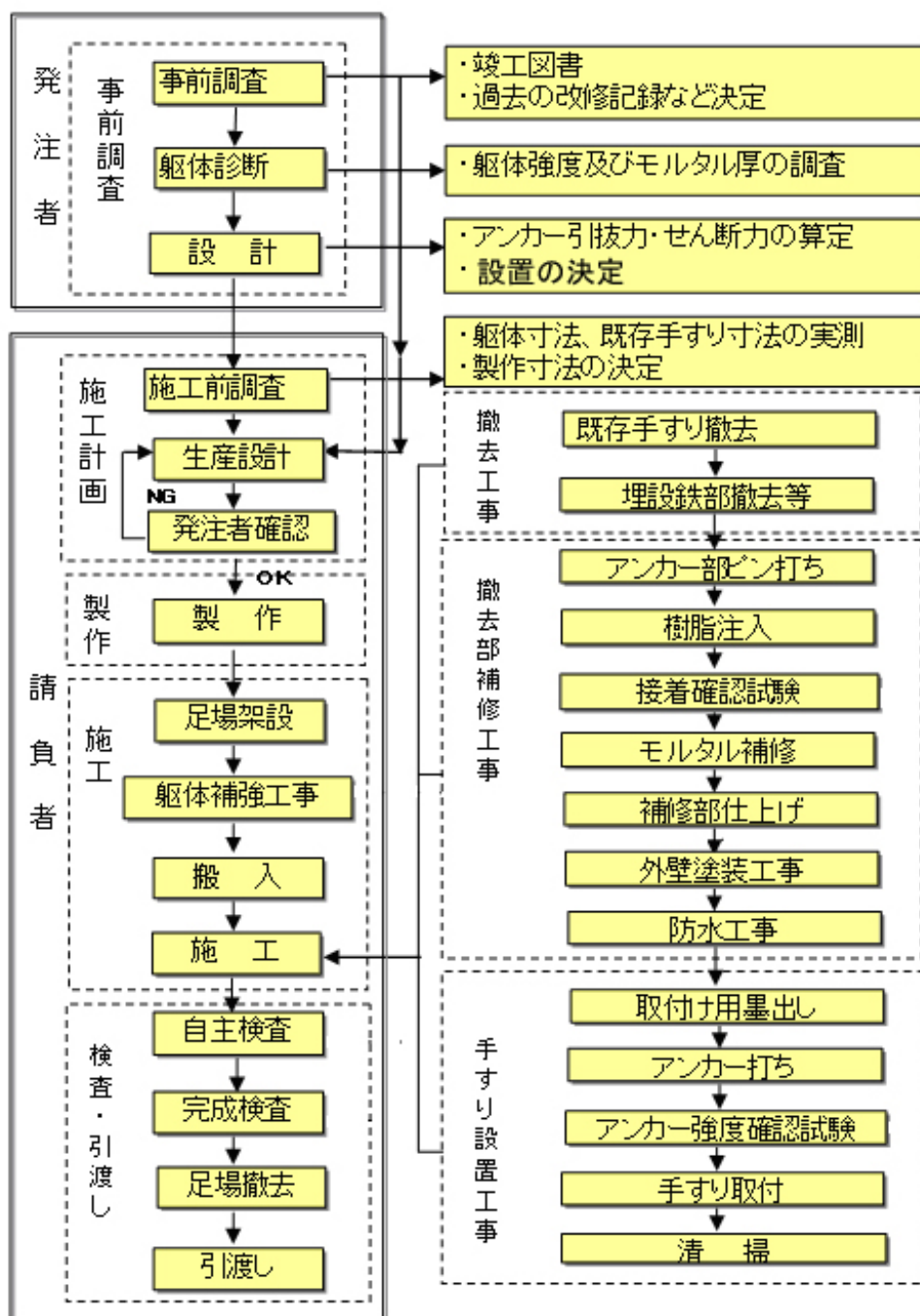
＊2：《　》金属拡張式アンカーの場合、＊3：（　）は床支持Ｒ部の笠木に求められる強度

○支柱・方立等の内部へ雨水等が浸入しにくい構造となっており、雨水等が浸入しても外部に排水されるようになっています。【独】

○共用廊下では笠木天端までの寸法は腰壁その他足掛かりとなる恐れのある部分（ユニットの下弦材等足の掛かる部分を含む）から 1100 ㎜以上、バルコニーでは床仕上げから 1100 ㎜以上（足の掛かる部分がある場合、足の掛かる部分から 800mm 以上）確保してください。

○共用廊下等の墜落防止手すりに歩行補助手すりを設置する場合は、パラペット、下弦材等足掛りとなる部分から補助手すり天端まで 650 ㎜以上確保してください。

○改修・交換に用いる場合は、施工前に既存躯体の事前調査を行った結果を基に、躯体の状態に適した設置方式及びアンカーを使用して施工してください。（改修に係る施工のフロー参照）

改修に係る施工のフロー

歩行・動作補助手すり

優良住宅部品の「歩行・動作補助手すり」は、歩行の補助や立ち上がる、座るなどの動作を補助するために設置する手すりで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅、戸建住宅、福祉施設、病院
設置場所	○廊下・階段等【歩行補助手すり】 ○便所・洗面所・浴室等【動作補助手すり】

動作補助手すり設置例（トイレ／浴室）

歩行補助手すり設置例
（戸建住宅室内階段／共同住宅屋外廊下）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○通常の使用において想定される各種の荷重(下表)に対し手すりのレール、取付金物にガタツキ、外れ、ひび割れや破壊などがないことを試験により確認しています。【独】

		水平荷重	鉛直荷重
歩行補助手すり	1スパンの寸法Lが 0＜L≦1800 ㎜の時	1,150N	1,150N
	1スパンの寸法Lが 1800㎜＜L の時	(1,150L／1800) N	(1,150L／1800) N
動作補助手すり		590N	590N

○浴室用においては、取付部から水が壁内部に漏れないことを試験により確認しています。(荷重試験の後散水試験を実施)【独】

○屋外用のものにおいては、耐候性試験を実施してヒビ割れや異常が無いことを確認しています。【独】

・JISA1415 促進耐候性試験を実施し 1000 時間後色差⊿E*5.0 以下、光沢保持率は 80%以上、ひび割れ等異常が無いことを確認しています。

○木質系材料や使用する接着剤は、ホルムアルデヒド発散区分 F☆☆☆☆相当以上としています。【独】

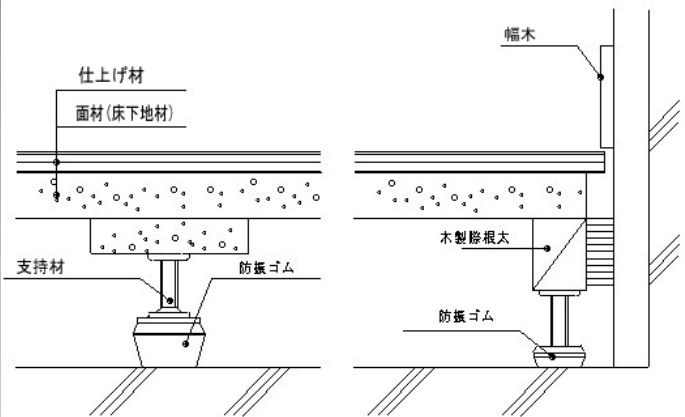
○開放廊下等で墜落防止手すりに歩行補助手すりを取付ける場合は、パラペット、下弦材等足のかかる部分から歩行補助手すり天端まで 650 ㎜以上確保してください。【独】

○設置する場合は下地補強材の有無を確認してください。条件に合ったアンカー等の選択や施工方法は取付説明書等により情報提供されています。【独】

○既存の浴室ユニットに補助手すりを設置する場合は、仕上げ壁材、下地、躯体条件、隙間距離等の条件にあったアンカーが用意されています。【独】

内装床ユニット

優良住宅部品の「内装床ユニット」は、ＲＣ造住宅のスラブ上にレベル調整可能な支持脚を置いて床を浮かして設置し、配管等の敷設スペースを確保できるようにした乾式二重床で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○RC造住宅（共同住宅及び戸建住宅）
床ユニットの構成	○内装床ユニットの必須構成部品は、スラブ上の床構成部材を支える支持材と床下地を構成する面材です。この他、床仕上材、捨張り材、幅木、畳寄せ、点検口、設備アウトレットボックス等を選択可能な認定部品もあります。

乾式二重床施工例　　乾式二重床の床構成例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○床ユニットが十分な強度を有するものであることを次の試験を行い確認しています。【独】

・積載荷重試験（1,960N/㎡の等分布荷重を加える）で載荷時の最大たわみが 3mm 以下であることを確認

・局部集中荷重試験を実施（980N の局部集中荷重を加える）で載荷時の最大たわみが 3mm 以下であることを確認

○床ユニットが湿度の変化に対して十分な安定性を有するものであることを次の試験を行い確認しています。【独】

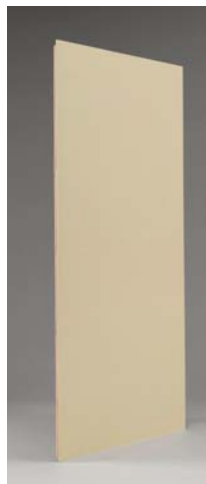
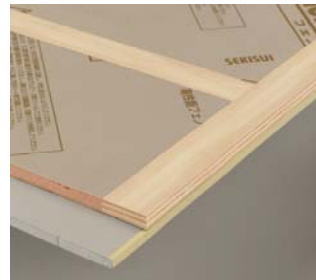
・加湿繰返しによる変形試験（片面を湿度 90%の高湿、他面を湿度 50%の中湿の環境下にユニットを置く）で、ユニットの変位が高さの 1/200 以下であることなどを確認）

○内装床ユニットの性能を確保するために、支持材の配置ピッチ、床ユニットの割付等、認定企業から提供される施工要領に従い正しく施工してください。なお、床を先行して仕上げる場合は、間仕切壁等の設置位置をできるだけ床ユニットの支持脚近傍に配置してください。

断熱改修用内装パネル(壁・天井)ユニット

優良住宅部品の「断熱改修用内装パネル(壁・天井)ユニット」は、既存住宅の壁・天井に部屋内から増し貼りする断熱材と表面材を一体的に成形したパネルユニットで、次のようなものがあります。

設置対象建物		○既存住宅
設置対象部位		○壁及び天井[*1]
材料	パネル面材	○木質材（合板） ○せっこうボード
	断熱材	○Ａ種フェノールフォーム保温板
ＢＬ-bs 部品の特長		○環境の保全【省エネルギー】

＊1：天井パネルユニットは、平成 27 年 4 月 1 日現在認定部品はありません。

パネルユニット断面

表面　　　裏面

壁パネルユニット(せっこうボードタイプ)

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○断熱性が向上します。

断熱性能は下表に示すランクのいずれかに適合します。【超】

ランク	断熱材の熱抵抗値Ｒ【㎡・K/W】
1	1.25≦R
2	1.00≦R＜1.25
3	0.75≦R＜1.00
4	0.50≦R＜0.75

○壁パネルユニットは、想定される衝撃により使用上支障のある亀裂、破壊、はく離などが生じないことを衝撃試験で確認しています。【超】

○湿度の変化に対して十分な安定性を有していることを加湿繰返しによる変形試験で確認しています。【超】

○室内の温度変化に対して十分な安定性を有していることを加熱繰返しによる変形試験で確認しています。【超】

○　次の表に従って、断熱材の熱抵抗値のランク別、住宅の構造別及び地域区分*2別に、優良住宅部品として使用できる範囲並びに部位として対応する品確法*3（枠組み壁工法以外の木造住宅）の等級について、カタログその他の図書及びホームページにより情報提供されます。【独】

壁パネルユニット

断熱材の熱抵抗値のランク	木造住宅（大壁造）						ＲＣ造住宅					
	地域区分*2						地域区分*2					
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
1	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
2	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
3	—	—	—	○	◎	◎	—	○	○	◎	◎	◎
4	—	—	—	—	◎	◎	—	—	—	○	◎	◎

天井パネルユニット

断熱材の熱抵抗値のランク	木造住宅						ＲＣ造住宅					
	地域区分*2						地域区分*2					
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
1	—	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
2	—	—	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○
3	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	○	○
4	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	○

◎：品確法*3の等級 3 に対応　　　　優良住宅部品として使用できる範囲

○：品確法*3の等級 2 に対応

＊2：「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断と基準」（平成 18 年改正）における地域区分

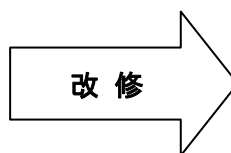
＊3：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（平成 21 年改訂）

注 1：優良住宅部品として使用できる地域区分は、断熱性能がないと想定した既存住宅の壁及び天井にパネルユニットを増し貼りした場合に対応しています。

注 2：この断熱性能は、壁及び天井について規定するものであり、窓・床及び建物全体での性能について表記するものではありません。

天井ユニット

優良住宅部品の「天井ユニット」は、住宅内において配線・配管等のためのスペースを確保して天井を構成するもので、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ＲＣ造共同住宅（住戸部）及びＲＣ造戸建住宅
天井ユニットの種類	○膜天井ユニット【天井周囲の回り縁に面材(膜材)を一定の張力を持たせて固定し、天井面を仕上げるもの】

膜天井による改修施工例

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○湿度の変化に対して十分な安定性を有しているか加湿繰返しによる変形試験で確認しています。【独】

○天井裏に布設された配線・配管等の設備取り出しのための部材として「設備アウトレットボックス」及び「点検口」が天井ユニットとともに供給可能な機種もあります。【独】

ガレージ

優良住宅部品の「ガレージ」は、屋外に独立して設置する自動車を収容するためのガレージです。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（共用部）、その他に設置が可能
設置場所	○屋外に独立設置
設置方式	○独立型 ○連続型【複数のガレージを間口方向に連続して設置したものをいう】
扉の開閉方式	○手動式 ○電動式

独立型

連続型

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○設置する地域の積雪量、風力に応じて、それぞれ 3 性能区分の中から次のように選択できるようになっています。【独】

積雪荷重性能区分

型 式	積 雪 荷 重 値	備 考
Ｓ１２００型	１，２００Ｎ／㎡	１年を通じて、あまり雪が降らない地域で、根雪が残らない地域。 積雪量 60cm 以下（通常地）
Ｓ３０００型*1	３，０００Ｎ／㎡	比較的雪が多く降る地域で、冬期には根雪が残る地域。 積雪量 100cm 以下（積雪地）
Ｓ４５００型	４，５００Ｎ／㎡	雪が多く降る地域で、根雪が残る地域。積雪量 150cm 以下。（豪雪地）

風圧力性能区分

型 式	風圧力	備 考
Ｗ８３０型	８３０Ｎ／㎡	日本全域の約８割程度の地域に対応できる風圧力。基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１０４０型	１，０４０Ｎ／㎡	2009 年 12 月現在で、日本全域の主要都市（政令指定都市、中核都市、特例市）に対応できる風圧力。基準風速 38m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１２７０型	１，２７０Ｎ／㎡	沖縄等一部暴風地域を除く、日本全域に対応できる風圧力。基準風速 42m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。

○壁、戸及び屋根は、飛来物による衝撃に対して使用上支障のある貫通や亀裂が生じないことを衝撃試験で確認しています。【独】

○人が閉じ込められないよう、内側から開閉できるようになっています。【独】

○風圧力による戸の変形に対して、開閉に支障がないことを第三者機関による風圧試験により確認しています。【独】

○自動車の出し入れがしやすいように、自動車に適した寸法・容積の確保、内部に障害物がないことを確認しています。【独】

○屋根や壁等の周辺から漏水しないことを雨水試験により確認しています。【独】

○十分な耐久性を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

・耐食性に係る促進試験、塗膜の付着性試験、耐候性に係る暴露試験を実施し、著しい腐食や塗膜のはがれ等がないことを確認しています。

・シャッターの開閉繰返し試験を実施し、シャッターの開閉に支障がないことを確認しています。

○設置地域に適した積雪対応区分、耐風圧対応区分の製品を選択して下さい。

・設置地域の積雪量については、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

・設置地域の基準風速については、建設省告示第 1454 号を参照して下さい。また、設置地域の地表面粗度区分は、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

自転車置場

優良住宅部品の「自転車置場」は、屋外に独立して設置する自転車を収容する自転車置場です。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（共用部）、その他に設置が可能
設置場所	○屋外に独立設置
支持方式	○４本柱支持*1【４隅に配置された４本の柱で１スパンを支持するもの】 ○片側支持【片側もしくは中央に配置された２本の柱で１スパンを支持するもの】
設置方式	○背合わせ ○棟合わせ（屋根が切妻形式になるように自転車置場を設置したもの。４本柱支持のみ）

＊1：４本柱支持のものは背合わせ、棟合わせ、片側支持のものは背合わせのものがあります。

４本柱支持

片側支持

片側支持（中央柱）

片側支持（背合わせ）

４本柱支持（棟合わせ）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○設置する地域の積雪量、風力に応じて、それぞれ次の性能区分の中から選択できるようになっています。【独】

積雪荷重性能区分

型 式	積 雪 荷 重 値	備 考
Ｓ９００型	９００N／㎡	１年を通じて、あまり雪が降らない地域で、根雪が残らない地域。 積雪量 45cm 以下（通常地）
Ｓ１２００型	１，２００N／㎡	１年を通じて、あまり雪が降らない地域で、根雪が残らない地域。 積雪量 60cm 以下（通常地）
Ｓ３０００型	３，０００N／㎡	比較的雪が多く降る地域で、冬期には根雪が残る地域。積雪量 100cm 以下（積雪地）
Ｓ４５００型	４，５００N／㎡	雪が多く降る地域で、根雪が残る地域。積雪量 150cm 以下。（豪雪地）

風圧力性能区分

型 式	風圧力	備 考
Ｗ８３０型	８３０Ｎ／㎡	日本全域の約８割程度の地域に対応できる風圧力。基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１０４０型	１，０４０Ｎ／㎡	2009 年 12 月現在で、日本全域の主要都市（政令指定都市、中核都市、特例市）に対応できる風圧力。基準風速 38m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１２７０型	１，２７０Ｎ／㎡	沖縄等一部暴風地域を除く、日本全域に対応できる風圧力。基準風速 42m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。

○壁及び屋根は、飛来物による衝撃に対して使用上支障のある貫通や亀裂が生じないことを衝撃試験で確認しています。【独】

○風の吹き上げに対して屋根部材に大きなたわみや著しい変形などがないことを第三者機関による風の吹き上げ荷重試験により確認しています。【独】

○雨により自転車が濡れないよう、屋根の奥行寸法を水平投影距離で 1,900mm 以上としています。【独】

○十分な耐久性を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

・耐食性に係る促進試験、塗膜の付着性試験、耐候性に係る暴露試験を実施し、著しい腐食や塗膜のはがれ等がないことを確認しています。

○設置地域に適した積雪対応区分、耐風圧対応区分の製品を選択して下さい。

・設置地域の積雪量については、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

・設置地域の基準風速については、建設省告示第 1454 号を参照して下さい。また、設置地域の地表面粗度区分は、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

物置ユニット

優良住宅部品の「物置ユニット」は、屋外に独立して設置する一般家庭の物品等を収納する物置です。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（共用部）、その他に設置が可能
設置場所	○屋外に独立設置
設置方式	○独立型 ○連続型【複数の物置を間口方向に連続して設置したもので、各物置間に間仕切壁を有するものをいう】

独立型

連続型

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○設置する地域の積雪量、風力に応じて、それぞれ 3 性能区分の中から次のように選択できるようになっています。【超】

積雪荷重性能区分

型 式	積 雪 荷 重 値	備 考
Ｓ１２００型	１，２００Ｎ／㎡	１年を通じて、あまり雪が降らない地域で、根雪が残らない地域。 積雪量 60cm 以下（通常地）
Ｓ３０００型	３，０００Ｎ／㎡	比較的雪が多く降る地域で、冬期には根雪が残る地域。 積雪量 100cm 以下（積雪地）
Ｓ４５００型	４，５００Ｎ／㎡	雪が多く降る地域で、根雪が残る地域。積雪量 150cm 以下。（豪雪地）

風圧力性能区分

型 式	風圧力	備 考
Ｗ８３０型	８３０Ｎ／㎡	日本全域の約８割程度の地域に対応できる風圧力。基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１０４０型	１，０４０Ｎ／㎡	2009 年 12 月現在で、日本全域の主要都市（政令指定都市、中核都市、特例市）に対応できる風圧力。基準風速 38m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。
Ｗ１２７０型	１，２７０Ｎ／㎡	沖縄等一部暴風地域を除く、日本全域に対応できる風圧力。基準風速 42m/s、地表面粗度区分Ⅲに相当。

○壁、戸及び屋根は、飛来物による衝撃に対して使用上支障のある貫通や亀裂が生じないことを衝撃試験で確認しています。【独】

○人の出入が可能な物置は、容易に出入りできるよう出入口等の寸法を定めています。【独】

・有効幅寸法 600mm 以上・有効高さ 1,700mm 以上の開口、内部の有効高さ 1,850mm 以上

○収納物が置ける棚板がついています。【超】

・等分布荷重試験を行い、棚板が大きく変形しないことを確認しています。

○雨漏りが発生しないように対策が講じられています。【独】

・雨水試験を実施し、屋根や壁、戸等の周辺から漏水しないことを確認しています。

○十分な耐久性を持ったものであることを試験により確認しています。

・耐食性に係る促進試験、塗膜の付着性試験、耐候性に係る暴露試験を実施し、著しい腐食や塗膜のはがれ等がないことを確認しています。

・扉の開閉繰返し試験を実施し、戸の開閉に支障がないことを確認しています。

○設置地域に適した積雪対応区分、耐風圧対応区分の製品を選択して下さい。

・設置地域の積雪量については、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

・設置地域の基準風速については、建設省告示第 1454 号を参照して下さい。また、設置地域の地表面粗度区分は、各地域の特定行政庁へお問い合わせください。

○転倒防止等のためのアンカー工事や基礎工事を必ず行って下さい。

キッチンシステム

優良住宅部品の「キッチンシステム」は、厨房設備を構成するシステム化された部品のうち、換気ユニット、調理用加熱機器、食器洗い機などの設備機器を除いたもので、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）の他、事務所、老人ホーム、学校及び店舗へ設置が可能			
構成	○セクショナルキッチン：流し台、こんろ台など独立した部品で構成 ○システムキッチン：流し台、こんろ台などを天板で一体化したもの ○長寿社会対応キッチンシステム（Ａ型）：ニースペースを有し、トップ高さが固定のもの ○長寿社会対応キッチンシステム（Ｂ型）：ニースペースを有し、トップ高さが段階的に調整可能（３段階以上）なもの			
ユニット配列	直列配列	Ｌ型配列	並行配列	Ｕ型配列

システムキッチン

セクショナルキッチン

長寿社会対応キッチンシステム

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○キャビネット、棚板及び吊り戸棚などについて、十分な強度を有しているか確認しています。（強度試験を実施）【独】

○シンクの排水部は、健康面に配慮されたものとなっています。（排水トラップのわん浮動防止、ゴミ流出防止対策）【独】

○引き出し及び扉は、開閉繰り返しに対し十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。（開閉繰り返し試験を実施：引き出しは 5000 回、扉 40,000 回を実施）【独】

○シンクの排水性、排水トラップの水密性が確保されたものとなっています。（シンクの排水性能試験、満水試験を実施）【独】

○主要構成部品の材料は、ホルムアルデヒド発散建築材料 F☆☆☆☆を使用しホルムアルデヒド対策が講じられたものとなっています。【確】

○セクショナルキッチンの寸法は下表により選択できるようになっています。【独】　[単位：mm]

構成部品	流し台	調理台	隅用調理台	こんろ台	つり戸棚	隅用つり戸棚
間口*1	1200 1500 1800	300 600	*2	600	300 600 900 1200	*2
奥行き*3	550 600 650	550 600 650	*2	550 600 650	450 以下*4	*2
高さ	800 850	800 850	800 850	620 670	500 700	500 700

*1：間口はモジュール呼び寸法としてください。　*2：寸法は特に定めていません。
*3：奥行きはモジュール呼び寸法としています。　*4：つり戸棚の奥行きは、扉の厚みを含んだ寸法としています。

○システムキッチンの寸法は下表により選択できるようになっています。【独】　[単位：mm]

構成部品	ワークトップ	フロアーユニット	ウォールユニット	トールユニット
間口*1 (n=0, 1, 2 …)	*2	100×n 又は 150×n	100×n 又は 150×n	100×n 又は 150×n
奥行き*3	600 650 700	550 600 650	450 以下*4	600 以上*5
高さ (n=0, 1, 2 …)	800 850 900	*2	*6	1800+50×n (n=0, 1, 2 …)

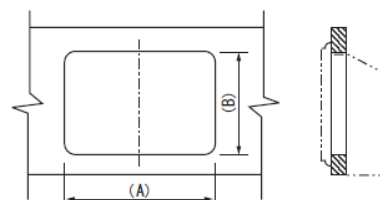
*1：間口はモジュール呼び寸法としています。　*2：寸法は特に定めていません。
*3：奥行きはモジュール呼び寸法としています。
*4：ウォールユニットの奥行きは、扉の厚みを含んだ寸法としています。なお、ビルトインタイプの冷蔵庫等の上に設置する特殊なウォールユニットの奥行き寸法については、フロアーユニットに合わせるものとしています。
*5：トールユニットの奥行きは、扉の厚みを含んだ寸法としています。
*6：ウォールユニットの高さについては特に定めておりませんが、床からウォールユニットの下端までの高さは、1300mm 以上としています。

○長寿社会対応・セクショナルキッチンの寸法は下表により選択できるようになっています。【独】[単位：mm]

構成部品	流し台	調理台	隅用調理台	こんろ台	つり戸棚	隅用つり戸棚
間口*1	1200 1500 1800	300 600	*2	600	300 600 900 1200	*2
奥行き*3	650	600	*2	650	*4	*2
高さ（A型）*5	800 850	800 850	800 850	620 670	500 700 900	500 700 900
高さ（B型）*5	800, 850, 900 の３段階調整			流し台並びに調理台の高さ-180 の位置で調整可とする	500 700 900	500 700 900

*1：間口はモジュール呼び寸法としています。　*2：寸法は特に定めていません。
*3：奥行きはモジュール呼び寸法としてもよいこととしています。
*4：つり戸棚の奥行きは、扉の厚みを含んだ寸法とし、必須保有寸法は特に定めていませんが、寸法範囲は 450 mm以下としています。
*5：Ａ 型の場合、流し台、調理台の高さは、800mm もしくは 850mm で、こんろ台の高さは、流し台、調理台の高さ寸法が 800mm の場合は 620mm 、850mm の場合は 670mm となっています。なお、高さは台輪による調整されているものもあります。

○ワークトップの調理用加熱機器用開口部の実寸法は以下のいずれかとしています。【独】

幅（A）　[単位：mm]	奥行き（B）　[単位：mm]
400 又は 410	460 又は 500
550 又は 560	
700 又は 710	

浴室ユニット

優良住宅部品の「浴室ユニット」は住宅の浴室として機能を有する構造的に自立した室形のユニットで、次のようなものがあります。また、長寿社会対応浴室ユニットもあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
浴槽の有無	○浴槽及び湯水混合水栓をユニットの構成部品から外して供給することができるもの（旧分類のＡ型に該当するもの） ○浴槽（防水パン一体型の浴槽のものを含む）及び湯水混合水栓がユニットと必ずセットで供給されるもの（旧分類のＢ型に該当するもの）
壁の材質	○FRP、タイル、塩ビ鋼板等
出入口扉	○折戸 ○開き戸 ○引き戸

浴室ユニット（旧分類のＢ型）の例

長寿社会対応浴室ユニットの例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○浴室内は十分な照度が確保されています。【独】
（照度試験の実施：洗い場四隅及び中央の5点での洗い場上面より高さ850㎜の位置での平均照度が75 lx以上）

○床、壁、天井の各接合部及び扉枠等は、シャワー等使用時に水漏れ、浸潤がないよう対策が講じられています。（散水試験を実施）【超】

○床及び浴槽床面は、想定される衝撃により変形、ひび割れ、破損が生じないよう対策が講じられています。（床の衝撃試験を実施：7kgの砂袋落下衝撃）【独】

○壁及び鏡は、想定される衝撃により、使用上支障のあるような変形、ひび割れ、破損、脱落等がないよう対策が講じられています。（壁の衝撃試験を実施：15kgの砂袋の衝撃）【独】

○洗い場はすべりにくい性能を有しており、試験を実施して確認しています。【独】

○壁・天井構成部品は、補修や交換時を考慮し、浴室内部から補修かつ交換ができるようになっています。【独】

○長寿社会対応浴室ユニットは、以下の対策が講じられています。【超】

・浴室の広さ、出入り口の有効幅員、床の段差、手すりの設置に関し、品確法の等級5から等級3の基準に適合できるようになっています。

<ユニットの広さ>

等級	ユニットの広さ
等級5及び等級4	短辺が内法寸法で1400mm以上で、かつ面積が内法寸法で2.5㎡以上
等級3	短辺(内法寸法) 戸建て:1300㎜以上、共同住宅:1200㎜以上 面積(内法寸法) 戸建て:2.0㎡以上、共同住宅:1.8㎡以上

・手すりの取付け部は、十分な強度を有するものとなっています。

(水平・鉛直荷重試験(590Nの水平・鉛直荷重)、散水試験を実施)

<手すりの設置箇所>

等級	手すりの設置箇所
等級5	浴室出入り、浴槽出入り、浴槽内での立ち座り、姿勢保持及び洗い場の立ち座りのための手すりを設置
等級4及び等級3	浴槽出入りのための手すりを設置

〇ユニットは、躯体床面の不陸に対しユニットの水平を確保するために、アジャスターボルト等により±10mm以上の調整ができます。【独】

〇ユニットに適用する設置空間モジュール呼び寸法は、下表によっています。【独】

間口	奥行	高さ
1700 1800 1900 2000 2100 *1	1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 *1	特に定めない*2

戸建住宅用の場合は、近似する寸法に読み替えることとしています。

＊1:表に示す寸法の範囲は標準とし、上限は定めていません。

＊2:換気扇等の設置寸法、建具の高さ、排水勾配等に支障のない寸法としています。

浴槽

優良住宅部品の「浴槽」は、住宅に用いる浴槽で次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
設置対象の浴室	○浴室ユニット（浴室ユニットへの設置のみを想定したもの） ○在来工法の浴室
本体材質	○プラスチック〔ＦＲＰ製、人工大理石製*1〕 ○ステンレス ○鋳鉄ほうろう ○鋼板ほうろう*1
設置方式	○据置 ○半埋込 ○埋込
風呂ふた	○有〔風呂ふたを装備しないで供給することも可能〕
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【高断熱浴槽】*1

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定部品はありません。

据置浴槽

半埋込浴槽

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○十分な保温性能を有したものとなっています。（保温性能試験を実施：湯張り後、2 時間経過後の温度低下が 5K 以内）【独】

○酸性又はアルカリ性の入浴剤、石鹸及び洗剤の使用に対して、十分な耐久性を有したものとなっています。（耐酸性試験、耐アルカリ性試験の実施）【独】

洗面化粧ユニット

優良住宅部品の「洗面化粧ユニット」は、洗面化粧及び収納の機能を有するもので、洗髪機能を有するものもあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
ユニット型式	○洗面化粧台タイプ ○洗面化粧カウンタータイプ

洗面化粧台タイプ

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○電気的な安全性が確保されたものとなっています。【独】
・コンセント、電灯、曇止めヒーター等について、絶縁抵抗、絶縁耐力、耐湿絶縁試験を第三者機関で実施
・コンセントは、水はね等で感電しないよう対策が講じられています。

○機能的な洗面所が構成できるよう、洗面化粧台、ミラーキャビネット、収納キャビネット等の組み合わせができるようになっています。【独】

○吐水時、シャワー使用時（洗髪機能付き）について、洗面器外部への水の飛散が少ないよう対策が講じられています。【独】
・飛散試験を実施（10Ｌ/min（これに満たない場合は最大流量）の給水時に飛散がないことを確認）

○洗面器、天板は十分な強度を有したものとなっています。【独】
・洗面器への落下物に対する耐衝撃性試験を実施

○十分な耐久性を有したものとなっています。【独】
・樹脂製又は鋼板ホーロー製の洗面器、天板については、耐酸・耐アルカリ性に係る試験を実施

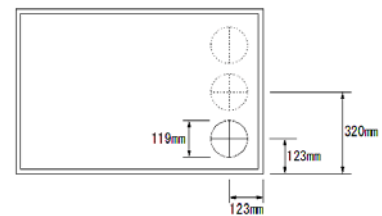
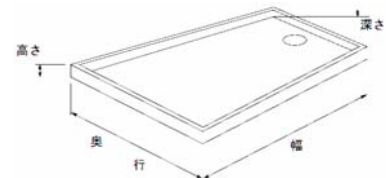
○扉は、十分な強度を持ったものであることが、試験により確認されています。【独】
・扉の強度試験を実施（扉の先端に 100N の荷重を加え、24 時間放置後に使用上支障のあるガタツキ、変形、破損等がないことを確認）

○洗面化粧台タイプの幅は、下表より選択してください。

機能	幅(mm)
洗面タイプ	500, 600, 700, 750, 800, 900, 1000, 1050, 1100, 1200
洗面・洗髪タイプ	600, 700, 750, 800, 900, 1000, 1050, 1100, 1200

洗濯機用防水パン

優良住宅部品の「洗濯機用防水パン」は、防水パン本体、排水トラップで構成され、洗濯機からの排水及び溢れた水を有効に排水できるもので、次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（住戸部）、戸建住宅
防水パンの材料	○ＦＲＰ製【ポリエステル樹脂、ガラス繊維を主原料としたもの】 ○ＡＢＳ樹脂製 ○ポリプロピレン樹脂製 ○再生プラスチック製【再生ポリエチレンを重量比 50%以上含むもの】*1
防水パンサイズ	○800 型 幅 800㎜×奥行 640㎜×高さ 85㎜ 以下 パンの深さ 45㎜ 以上 ○900 型 幅 900㎜×奥行 640㎜×高さ 85㎜ 以下 パンの深さ 45㎜ 以上
トラップの 取付位置・寸法	○トラップ取付け孔の中心 短辺端部より 123 ㎜又は 320 ㎜ 長辺端部より 123 ㎜ ○トラップ取付け孔径 119 ㎜

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定部品はありません。

防水パン本体(800 型)

トラップ(横排水型)

トラップ(縦排水型)

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○洗濯時の排水が適切に排水されることを、洗濯機を運転させた排水性能試験により確認しています。【独】

○防水性について、水張り試験（排水口を密閉し、満水状態にして 3 時間観察する）により、裏面から水漏れがないことを確認しています。【独】

○物が落下する等の衝撃について、耐衝撃性試験（1kg のなす型おもりを 1mの高さから落下させる）により、異常がないかを確認しています。【独】

○酸性やアルカリ性に対する耐久性に優れていることを耐酸性試験、耐アルカリ性試験（3%塩酸及び 5%水酸化ナトリウム溶液に浸す）により、われ、膨れ、変色がないことを確認しています。【独】

○洗濯機の脱水時の振動に対し、十分な耐摩耗性を有していることを耐摩耗性試験（振動数 6Hz で 39 日間振動させる）により、使用上有害なキズ、割れ、摩耗等が生じないことを確認しています。【独】

洗濯排水スリーブ

優良住宅部品の「洗濯排水スリーブ」は、浴室の壁又はドアの一部分を改修し洗濯機の排水を扉を閉めたまま浴室内に排水できるようにするものです。

設置対象建物	○共同住宅、戸建住宅の在来型浴室
設置方法	○壁付けタイプ【既存の浴室の壁に孔をあけ排水スリーブを取付けます】
	○方立てタイプ【片開き戸又は引戸の袖に方立てを設置し、排水スリーブを取付けます】
	○下框タイプ【両開き戸の子扉の下框に排水スリーブを取付けます】

【排水ホースを通した状態（浴室側）】

【下框タイプ使用例】

【壁付けタイプ脱衣室側】

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○樹脂製部材、ゴム系部材は、十分な耐久性を有していることを確認しています。【独】

○洗濯排水ホースの抜き差しが容易に行え、かつ、排水時の振動等によりはずれないことを確認しています。【独】

○排水ホースの接続にかかわらず、通常の使用において排水スリーブの取付部周辺から脱衣室側に水漏れ等がないことを試験により確認しています。【独】

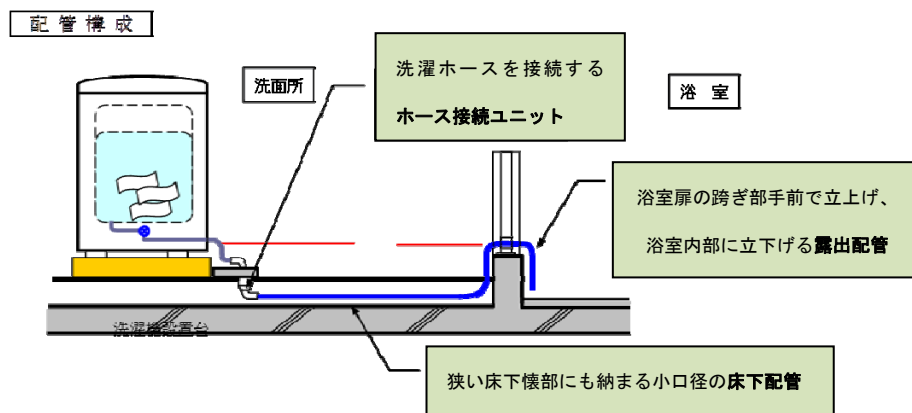
○壁付けタイプの場合ＲＣ、ブロック壁に 70φのコアドリルの穴あけのほかの加工は必要ありません。

○壁の厚さは 40㎜～200㎜ まで対応しています。

○浴室ドアの折戸タイプに取付けられて供給されるものもあります。

洗濯機用サイホン排出管

優良住宅部品の「洗濯機用サイホン排出管」は、既存の集合住宅の住戸内に設置する、サイホン作用を利用して洗濯機の排水を浴室内に流すものです。

設置対象建物	○共同住宅（住戸部）
対象住戸	○洗濯排水設備が間接排水対応となっている住戸
主な構成部品	○ホース接続ユニット ○床下配管 ○露出配管

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○洗濯時の排水が適切に排水されることを、洗濯機を運転させた排水性能試験により確認しています。【独】

○サイホン排出管の騒音性について、同じ設置条件の延長排水ホース方式で排水した場合と比較して、排水音が同等以下であることを確認しています。【独】

○サイホン排出管の防水性について、水張り試験（排水口を密閉し、満水状態にして 3 時間観察する）により、裏面から水漏れがないことを確認しています。【独】

○サイホン排出管の耐熱性について、耐熱性試験（60℃の熱湯を、満水状態にして 30 分観察する）により、裏面から水漏れがないことを確認しています。【独】

○ホース接続ユニットの排水性について、排水試験（実排水量が 1 分間あたり 20 リットル以上あること）により、適切に排水されることを確認しています。【独】

便器

優良住宅部品の「便器」は、住宅に用いられる洗浄用ロータンクを使用して洗浄を行う水洗式洋風腰掛大便器で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○　戸建住宅、共同住宅(住戸部)
節水機能	○　標準型（洗浄水量が大洗浄１０Ｌ以下のもの） ○　超節水型（洗浄量が概ね大洗浄６Ｌ以下、小洗浄４．５Ｌ以下のもの）
洗浄方式	○　洗い落とし式 ○　サイホン式 ○　サイホンゼット式
ＢＬ-bs 部品の特長	環境の保全【超節水】 超節水型の認定部品が対象です。

設置イメージ

設置イメージ

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○洗浄時の水の飛散が少ないよう対策が講じられています。【独】

○水配管内の汚物の残留による配管の詰まりを防止するため、十分な搬送性能を有していることを搬送性能試験により確認しています。【独】

○電気式便座を設置するものについては、定温火傷の防止や電気的な安全を確保するための対策が講じられています。(絶縁性、便座の表面温度に関する試験を第三者機関で実施)【独】

○ロータンク表面に結露が生じないよう対策が講じてられています。【独】

○給水音及び洗浄音を低減する対策が講じられています。【独】
(給水音６０dB(A)以下、洗浄音７５dB(A)以下であることを確認)

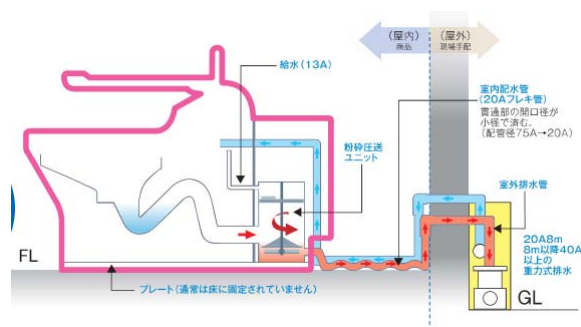
○小洗浄時においても汚水が確実に排出されることを確認しています。【独】

○便器は、大きく普通サイズと大型サイズに分けられます。大型サイズですとゆったり座れ、窮屈さを感じません。普通サイズと大型サイズとでは、便座の大きさが異なる場合があります。多機能便座も含め、便座をお選びの場合は、便器の大きさに合せてお選び下さい。

○寒冷地でお使いの場合は、凍結防止の配慮が必要です。寒冷地仕様の便器がありますので、地域にあった器具をお選び下さい。

圧送便器

優良住宅部品の「圧送便器」は、住宅や介護施設・福祉施設の居室等に用いられる腰掛式圧送便器で、次のようなものがあります。また、リフォームによって、設置することも可能です。

設置対象建物	○　戸建住宅、介護施設・福祉施設の居室部
節水機能	○　標準型（洗浄水量が大洗浄 8.0Ｌ以下のもの）
洗浄方式	○　洗い落とし式

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○トイレへの移動が困難な人を対象とし、使用する際に、不安定、無理な姿勢とならないよう対策が講じられています。【独】

○排水管内の汚物の残留による配管の詰まりを防止するため、十分な搬送性能を有していることを搬送性能試験により確認しています。【独】

○背もたれや、ひじ掛けは、使用時に不具合のないよう十分な耐久性を有していることを試験により確認しています。【独】

○洗浄時の水の飛散が少ないことを試験により確認しています。【独】

○本体の洗浄・排出時の騒音を低減する対策が講じられています。【独】

（洗浄操作を行った時の騒音は、65dB(A)以下あることを確認）

○温水洗浄便座を設置するものについては、定温火傷の防止や電気的な安全を確保するための対策が講じられています。（絶縁性、便座の表面温度に関する試験を第三者機関で実施）【独】

ガス給湯機

優良住宅部品の「ガス給湯機」は、都市ガス、液化石油ガスを燃料として浴槽、シャワー、洗面所及び台所等への給湯ができる給湯機で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅、共同住宅（住戸部）
機能別	○ 給湯専用 ○ 給湯＋風呂加熱（追焚）
給湯熱効率	○ 一般型 ○ 高効率型（通称：エコジョーズ）
風呂加熱方式	○ 自然循環型（浴槽内の湯を自然対流によりに循環させて加熱するもの） ○ 強制循環型（浴槽内の湯をポンプを用いて強制的に循環させて加熱するもの） ○ 高温水供給型（浴槽内にごく少量の高温水を送水しながら加熱するもの）
設置場所・方式	○ 屋外設置（床置き、壁掛け、パイプシャフト設置） ○ 屋内設置（床置き、壁掛け、外壁貫通型（主に改修用）） （屋内設置については、給排気方式が密閉燃焼型（ＦＦ式）に限られています。）
ＢＬ-bs 部品の特長	環境の保全【省エネルギー】 高効率型の認定部品が対象です。

屋外壁掛型給湯機

外壁貫通型給湯機

屋外床置型給湯機

浴室リモコン

台所リモコン

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

〇湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】

・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられています。

・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。

・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。

〇施工、メンテナンスが容易であるように、以下のような対策が講じられています。【独】

・機器の配管接続口径、配管接続位置（配列順）について共通化しています。

〇給湯加熱方式は瞬間式が主流となっており、設置スペースが小さくすることができます。

〇パイプシャフト設置タイプについては、設置形態に応じた排気バリエーションから選択することができます。（扉内設置、アルコーブ設置、排気延長型等）

〇給湯機の給気及び排気トップは、新鮮な外気が取り入れられ、排気ガスの排気に支障が無い開放空間に設置される必要があります。設置上の注意については、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実施指針」最新版を参照してください。

〇潜熱回収型給湯機は、燃焼中にドレン水が発生するため、工事説明書に基づきドレン配管工事を行う必要があります。なお、一部の認定部品では、既設の追焚配管を利用して浴室にドレン水を排出するタイプのものがあります。またドレン排水の取扱いについては、国交省（H24.3.28 通知）「潜熱回収型ガス給湯器等ドレン排水の取扱いについて」を参照してください。

電気給湯機

優良住宅部品の「電気給湯機」は、電気を熱源として浴槽、シャワー、洗面所及び台所等への給湯ができる給湯機で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅、共同住宅（住戸部）
機能別	○ 給湯専用 ○ 給湯＋風呂加熱
給湯熱効率	○ 一般型 ○ 高効率型（通称：エコキュート）
給湯加熱方式	○ ヒーター加熱式 ○ ヒートポンプ式 ○ ヒートポンプ式＋ヒーター加熱式
風呂加熱方式	○ 保温式 ○ 高温水供給型 ○ 循環加熱式
ヒートポンプ式のユニット構成	○ 一体型 ○ 分離型
設置場所・方式	○ 屋外設置（床置き） ○ 屋内設置（床置き）
ＢＬ-bs 部品の特長	環境の保全【省エネルギー】 高効率型(ヒートポンプ式)の認定部品が対象です。*1

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在ＢＬ-bs 部品の認定部品はありません。

ヒーター加熱式電気給湯機（丸型）

ヒーター加熱式電気給湯機（角型）

浴室リモコン

台所リモコン

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】
- ・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられています。
- ・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。
- ・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。

○ヒートポンプ式については、電気的な安全を確保するための各種試験を行っています。【独】
- ・絶縁抵抗、耐電圧、注水絶縁に関しては、第三者機関による試験を実施

○貯湯タンクは十分な保温性能を要求しています。【超】
- ・13 時間放置後の湯温が、沸き上がり湯温-13℃以上となっています。

○施工、メンテナンスが容易であるように、以下のような対策が講じられています。【独】
- ・機器の配管接続口径、配管接続位置について共通化しています。

○設置については、メンテナンスや将来の取替え時の通路が確保できる場所にしてください。

石油給湯機

優良住宅部品の「石油給湯機」は、灯油を燃料として浴槽、シャワー、洗面所及び台所等への給湯ができる給湯機で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅、共同住宅（寒冷地等）
機能別	○ 給湯専用 ○ 給湯＋風呂加熱（追焚）
給湯熱効率	○ 一般型 ○ 高効率型（通称：エコフィール）
風呂加熱方式	○ 強制循環型 ○ 高温水供給型*1
設置場所・方式	○ 屋外設置（床置き、壁掛け） ○ 屋内設置（床置き、壁掛け）
ＢＬ-bs 部品の特長	環境の保全【省エネルギー】 高効率型の認定部品が対象です。

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定部品はありません。

屋外床置型給湯機（エコフィール）

屋外床置型給湯

屋外壁掛型給湯

浴室リモコン

台所リモコン

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】

・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられています。

・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。

・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。

○施工、メンテナンスが容易であるように、以下のような対策が講じられています。【独】

・機器本体及び給排気部の寸法を共通化しています。

・機器の配管接続口径、配管接続位置（配列順）について共通化しています。

密閉式ふろがま

優良住宅部品の「密閉式ふろがま」は、都市ガス、液化石油ガスを燃料とした浴室に設置されるふろがまで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
機能	○風呂加熱専用 ○風呂加熱+シャワー及び浴槽給湯
形式	○Ｉ型（自然給排気方式） ○Ⅱ型（給排気管を立ち上げたＢＦ式） ○Ⅲ型（シャワー及び浴槽への落込み給湯が可能なⅡ型） ○Ⅳ型（シャワー及び浴槽への落込み給湯が可能なＩ型）

ＢＦ式シャワー無ふろがま（Ｉ型）

ＢＦ式シャワー付ふろがま（Ⅲ型）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○給湯機能を有するものについては、冬期の気温低下による凍結を防止するための凍結防止対策が講じられています。【独】

○追いだき機能部について、水漏れ、変形が発生しないような耐圧性能を有しています。【独】

○施工、メンテナンスが容易となるよう、以下のような対策が講じられています。【独】

・機器本体及び壁貫通部の寸法を共通化

・機器の配管接続口径、配管接続位置（配列順）についての共通化

○安全性、点火操作性の向上した乾電池搭載タイプもあります。

○給排気トップは、新鮮な外気が取り入れられ、排気ガスの排気に支障が無い開放空間に設置される必要があります。設置上の注意については、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実施指針」最新版を参照してください。

太陽熱利用システム

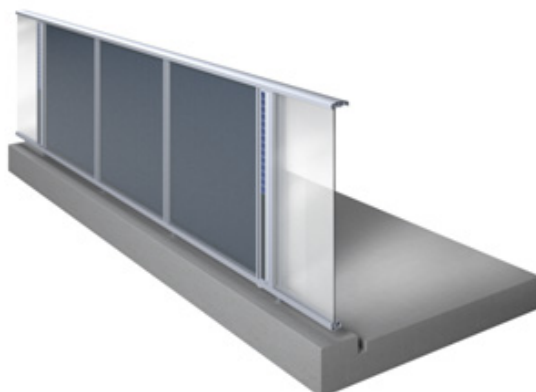
優良住宅部品の「太陽熱利用システム」は、給湯や暖房の一部に太陽熱を使うシステムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅*1（住戸部）、社会福祉施設等
機能別	○給湯専用（自然循環型・強制循環型） ○給湯＋暖房（強制循環型・空気集熱型）
集熱・熱搬送方式	○自然循環型【熱搬送して貯湯槽へ熱を蓄えるもの】 ○強制循環型*2(直接集熱式)【集熱器に給湯用水を直接循環して、貯湯槽に熱を蓄えるもの】 ○強制循環型*2 (間接集熱式)【熱媒体(不凍液等)を集熱器と貯湯槽の間で強制循環させて、貯湯槽に熱を蓄えるもの】 ○空気集熱型【集熱器で暖められた空気を集熱ファンにより強制的に室内に送風して暖房を行うもの】
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【自然エネルギー利用】

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在木造の共同住宅に設置可能な認定部品はありません。

＊2：強制循環型においては、補助熱源機と組み合わせて使用するものもあります。

集熱器(屋根設置)　　貯湯槽(補助熱源機付)

強制循環型

集熱器(ベランダ設置)　　貯湯槽(補助熱源機付)

強制循環型

自然循環型

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○機器の取り付けに関して、以下のような対策により安全性を確保しています。【独】
- ・想定される地震荷重、風荷重等に対する取付強度の確保(「住宅用ソーラー施工技術の基礎知識―住宅用太陽熱利用システム　設計・施工指針―(社団法人ソーラーシステム振興協会)」による)
- ・集熱器の取付部の強度の確保(満水時重量の 1.5 倍の引張荷重強度試験を実施)

○空気集熱型の送風ファンについて、生活に支障をきたすような著しい振動がないよう振動対策が講じられています。【独】

○集熱器及び蓄熱層の外装材について耐久性が確保されるよう、塗膜の付着性、耐塩性試験を実施し、塗膜のはがれや錆の発生がないことを確認しています。【独】

○接続できない補助加熱装置がある旨について、カタログ等で情報提供がされています。【独】

○機器単体ではなくシステムとして認定しています。【独】

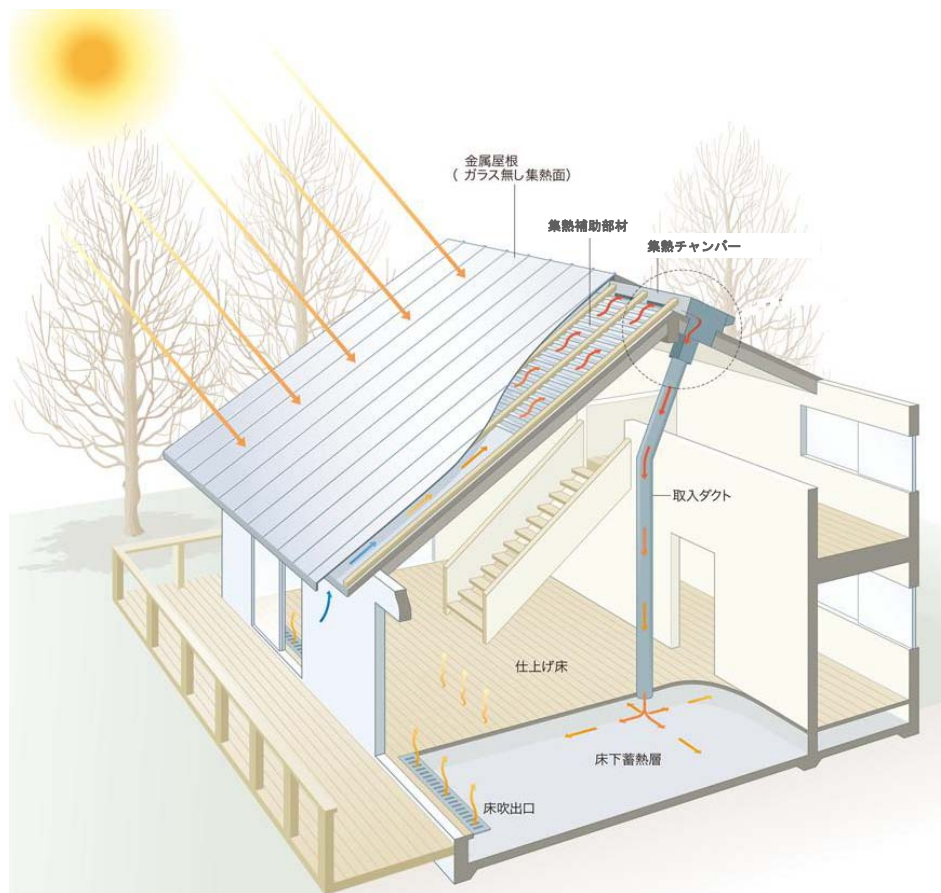
○太陽エネルギーを効率よく集熱できるように設計されており、BL-bs 部品として認定しています。【超】
- ・自然循環型及び空気集熱型の集熱性能は 40%以上、強制循環型の集熱性能は 60%以上

○太陽熱によって貯められたお湯が有効に利用されるように対策が講じられています。【超】
- ・自然循環型の有効出湯効率は 75%以上、強制循環型・空気集熱型の有効出湯効率は 80%以上

○既存の屋根に集熱パネルを設置する際は、雨漏り等が発生しないよう工事説明書や施工説明書にもとづいた施工としています。

太陽熱利用システム（屋根下集熱方式）

優良住宅部品の「太陽熱利用システム（屋根下集熱方式）」は、屋根の下の空気を利用して、主に暖房の一部に太陽熱を使うシステムです。

設置対象建物	戸建住宅
集熱・熱搬送方式	○空気集熱型【屋根の下にある集熱補助部材（採熱板）や透過体で空気を暖め、ファンより強制的に床下を経由して室内に送風して暖房を行うもの】
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【自然エネルギー利用】

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○機器単体ではなく、システムとして認定しています。

○太陽エネルギーを効率よく集熱できるように設計されており、BL-bs 部品として認定しています。【独】

・透過体を使用して集熱する場合の集熱性能は、40%以上、透過体を使用しないで集熱する場合の集熱性能は、25%以上

○空気集熱型の送風ファンについて、生活に支障をきたすような著しい振動がないよう振動対策が講じられています。【独】

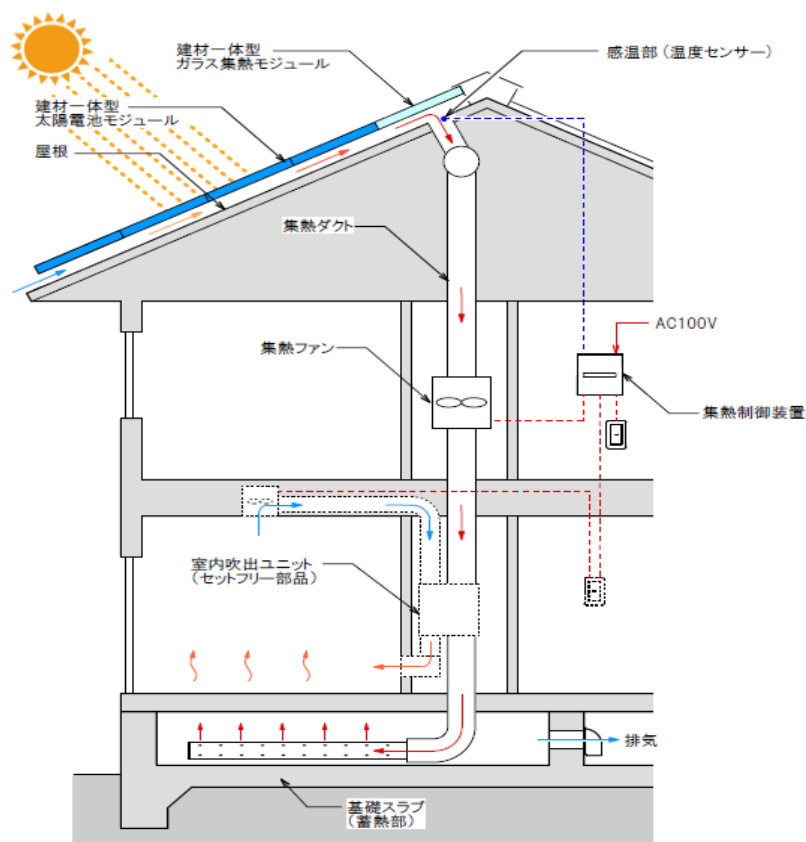
○ホルムアルデヒドや防蟻対策用の薬剤等による室内空気の汚染への対策が講じられています。【確】

○接続できない補助加熱装置がある旨について、カタログ等で情報提供がされています。【独】

○取付下地の確認や屋根防水に係る部分への器具の取付方法は、工事説明書や施工説明書にもとづいた施工としています。

太陽熱利用システム（カスケード方式）

優良住宅部品の「太陽熱利用システム（カスケード方式）」は、建物の屋根に設置された太陽電池モジュールやガラス集熱モジュールと屋根面の間の外気を利用して、暖房、給湯に太陽熱を使うシステムです。

設置対象建物	戸建住宅
集熱・熱搬送方式	○空気集熱型【太陽電池モジュールやガラス集熱モジュールと屋根面の間の暖かい空気を集熱ファンと集熱ダクトを用いて床下に搬送し暖房や給湯を行うもの】
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【自然エネルギー利用】

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○機器単体ではなく、システムとして認定しています。

○太陽エネルギーを効率よく集熱できるように設計されており、BL-bs 部品として認定しています。【独】

・集熱部における集熱性能は、10％以上

○空気集熱型の送風ファンについて、生活に支障をきたすような著しい振動がないよう振動対策が講じられています。【独】

○ホルムアルデヒドや防蟻対策用の薬剤等による室内空気の汚染への対策が講じられています。【確】

○接続できない補助加熱装置がある旨について、カタログ等で情報提供がされています。【独】

家庭用ガスコージェネレーションシステム

優良住宅部品の「家庭用ガスコージェネレーションシステム」は、都市ガスで発電を行い、その際に生じた排熱を利用し、湯を沸かすこともできるコージェネレーションシステムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅
機能別	○ 暖房＋給湯＋風呂加熱（追いだき）
風呂加熱方式	○ 強制循環型
設置場所・方式	○ 屋外設置
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【省エネルギー】

発電ユニット＋排熱回収ユニット

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○荷重に対する安全性を確保するため、試験により発電ユニット及び排熱回収ユニットの取付強度を確認しています。【独】

○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】
- ・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられています。
- ・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。
- ・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。

○発電及び排熱利用をあわせた総合エネルギー効率が高いことから、ＢＬ-bs 部品（より良い社会の実現を先導する特長（環境の保全に寄与）を有するもの）として認定しています。【独】

○新鮮な外気が取り入れられ、排気ガスの排気に支障が無い開放空間に設置する必要があります。設置上の注意については、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実施指針」最新版を参照してください。

○点検・修理のために前方、側方及び後方の各々にメンテナンススペースを確保してください。

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

優良住宅部品の「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム」は、定置用固体高分子形燃料電池(PEFC：Polymer Electrolyte Fuel Cell)コージェネレーションシステムで、都市ガスやLPガス等の原燃料から取り出した水素と空気中の酸素の化学反応により発電を行うとともに、その際に生じた排熱を利用し湯を沸かすこともできるコージェネレーションシステムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○ 戸建住宅
機能別	○ 暖房＋給湯＋風呂加熱（追いだき）
給湯熱効率（補助熱源機）*1	○ 一般型 ○ 高効率型
風呂加熱方式（補助熱源機）*1	○ 強制循環型
設置場所・方式	○ 屋外設置
ＢＬ-bs 部品の特長	○環境の保全【省エネルギー】

＊1 既存補助熱源機を補助熱源機とする場合もあります。

発電ユニット＋貯湯ユニット

■特徴

凡例 【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの 【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○効率よく発電し、かつ、発電の際に生じる熱が無駄なく回収されていることを発電効率試験及び排熱回収効率試験により確認しています。【独】

○排熱回収により得られた熱で貯められた湯を有効活用するための対策が講じられていることを断熱性能試験により確認しています。【超】

○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】

・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられている。

・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が60℃以下になるようにしている。

・湯温選択の際、使用者が意図しなければ60℃を超える湯温選択ができないようになっている。

○新鮮な外気が取り入れられ、排気ガスの排気に支障が無い開放空間に設置する必要があります。設置上の注意については、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実施指針」最新版を参照してください。

○点検・修理のために前方、側方及び後方の各々にメンテナンススペースを確保してください。

ハイブリッド給湯・暖房システム

優良住宅部品の「ハイブリッド給湯・給湯システム」は、電気ヒートポンプユニットで加熱され貯湯された湯を優先的に使用し、使用する湯量が貯湯タンクに蓄えられた湯量を超えた場合や出湯温度の設定が貯湯タンクに蓄えられた湯の温度より高い場合に、自動的に潜熱回収型ガス熱源機で補完する給湯・暖房システムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○　戸建住宅、共同住宅（住戸部）
機能別	○　暖房＋給湯＋風呂加熱（追いだき） ○　給湯＋風呂加熱（追いだき）
給湯熱効率（補助熱源機）	○　高効率型
風呂加熱方式（補助熱源機）	○　強制循環型
設置場所・方式	○　屋外設置
ＢＬ-bs 部品の特長	○　環境の保全【省エネルギー】

【一体型】
ヒートポンプユニット　　熱源ユニット

【分離型】
ヒートポンプユニット　　ガス熱源機　　貯湯ユニット

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○エネルギー効率*[1]は、JIS S 2071 の標準使用モード（51 モード）に基づき、JIS C 9220 の冬期給湯モード加熱条件で運転した場合、給湯システムとして 120%以上の高いエネルギー効率を有しています。【独】
　＊1：エネルギー効率＝給湯熱量[kWh]／（消費ガス量[kWh]＋消費電力量[kWh]）×100[%]

○使用者に節湯を促すよう操作部において使用湯量を表示することとしています。【独】

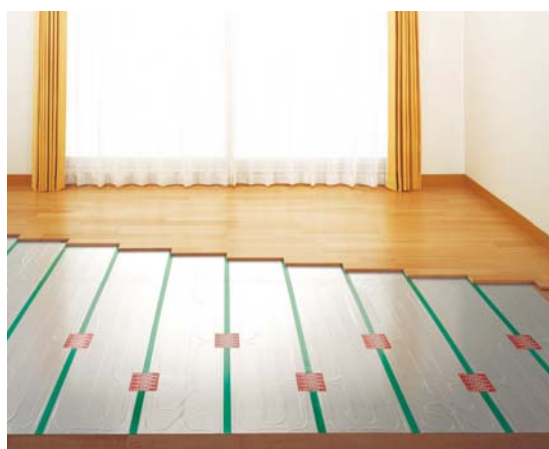
○湯の使用時における火傷防止のため、以下のような対策が講じられています。【独】
- ・浴室でのシャワー等使用時に、他で湯を使用しても湯温が変化しないよう浴室リモコンに湯温選択の優先機能が設けられています。
- ・湯温選択の優先機能の解除後には、設定湯温が 60℃以下になるようにしています。
- ・湯温選択の際、使用者が意図しなければ 60℃を超える湯温選択ができないようになっています。

○新鮮な外気が取り入れられ、排気ガスの排気に支障が無い開放空間に設置する必要があります。
設置上の注意については、一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実施指針」最新版を参照してください。【独】

○点検・修理のために前方、側方及び後方の各々にメンテナンススペースを確保してください。【独】

暖・冷房システム（温水式）

優良住宅部品の「暖・冷房システム（温水式）」は、暖房又は給湯用の温水を供給する熱源機及び居室、浴室等を暖房するための端末機器等により構成されるシステムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅(住戸部)
熱源別	○都市ガス・液化石油ガス ○灯油 ○電気
機能別	○暖房専用 ○暖房＋給湯 ○暖房＋給湯＋風呂加熱（追いだき）
風呂加熱方式	○強制循環型（浴槽内の湯をポンプを用いて強制的に循環させて加熱するもの） ○高温水供給型（浴槽内にごく少量の高温水を送水しながら加熱するもの）
設置場所・方式（熱源機）	○屋外設置（床置き、壁掛け、パイプシャフト設置、壁組込み型） ○屋内設置（床置き、壁掛け）
端末機器	○床暖房ユニット(一般型、高効率型)、浴室暖房乾燥機、ファンコンベクタ、コンベクタ・ラジエータ
ＢＬ-bs 部品の特長	環境の保全【省エネルギー】 高効率型ガス熱源機が対象です。

床暖房ユニット

浴室暖房乾燥機

ファンコンベクタ

コンベクタ・ラジエータ

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

〇床暖房ユニットについては、床仕上げ材表面を適切に暖めることができることを表面温度分布試験により確認しています。【独】

〇床暖房ユニットについては、標準施工状態において、床暖房ユニットからの熱が居室に有効的に放熱されていることを放熱特性試験により確認しています。【独】

〇床暖房ユニットについては、荷重や衝撃等が加わった場合でも使用上支障のあるような変形、ひび割れ及び破損がないことを積載荷重試験、耐衝撃性能試験、局部圧縮性能試験などにより確認しています。【独】

〇浴室暖房乾燥機については、浴室内が適切に暖房されることを暖房性能試験により確認しています。【独】

〇浴室暖房乾燥機については、適切な時間内に衣類乾燥が行われることを乾燥試験により確認しています。【独】

〇ファンコンベクタについては、居室が適切に暖房されることを暖房能力試験等により確認しています。【独】

〇移動型のファンコンベクタについては、転倒させても異常がないことを移動形機器の安全性試験により確認しています。【独】

〇コンベクタ・ラジエータについては、居室が適切に暖房されることを放熱能力試験により確認しています。【独】

〇移動型のコンベクタ・ラジエータについては、転倒させても異常がないことを移動形機器の安全性試験により確認しています。【独】

〇ガス熱源機及び石油熱源機は、ガス給湯機及び石油給湯機と同様に給排気トップの開放空間への設置が必要です。また、高効率型（潜熱回収型）ガス熱源機は、ドレン水処理が必要です。

〇床暖房ユニットで、居室を十分に暖房するためには、床面積に対して一定割合以上の敷設率が必要となります。（施工説明書等に記載されている敷設率をご確認ください。）

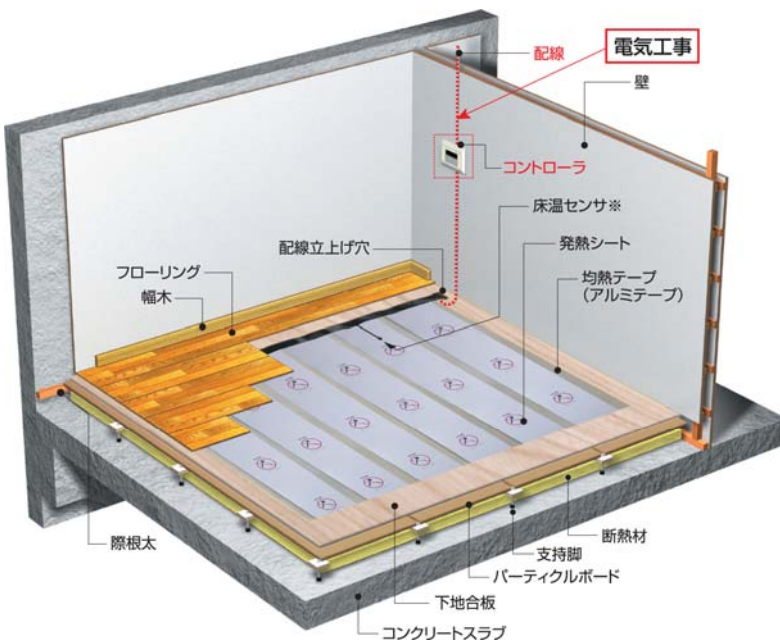
〇床暖房ユニットを敷設する場合、床仕上げ材は、床暖房用のものを使用してください。【独】

〇床暖房ユニットで、居室を適切に暖房するため、床下に使用する断熱材は、設置する地域の気候等にあったものを使用してください。

〇浴室暖房乾燥機の設置にあっては、給水配管やドレン水処理の工事等が必要な場合があります。【独】

暖・冷房システム（床暖房ユニット/電気式）

優良住宅部品の「暖・冷房システム（床暖房ユニット/電気式）」は、居室などの根太上、根太間等に設置される電気式の床暖房ユニットで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
部品形態	○一体型【床仕上げ材と床暖房ユニットとが一体となったもの】 ○分離型【床仕上げ材と床暖房ユニットとが別になったもの】
設置方式	○根太上直接設置【根太上に直接設置するもの】 ○根太上下地材設置【根太上にに床下地材を介して設置するもの】 ○根太間設置【根太間に設置するもの】

施工例（根太上下地材設置）

発熱シート

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○床仕上げ材表面を適切に暖めることができることを表面温度分布試験により確認しています。【独】

○荷重や衝撃等が加わった場合でも使用上支障のあるような変形、ひび割れ及び破損がないことを積載荷重試験、耐衝撃性能試験、局部圧縮性能試験などにより確認しています。【独】

○居室を十分に暖房するためには、床面積に対して一定割合以上の敷設率が必要となります。（施工説明書等に記載されている敷設率をご確認ください。）

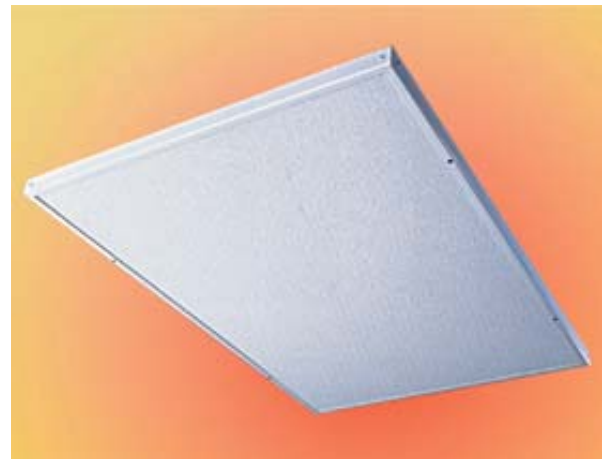
○床仕上げ材は、床暖房用のものを使用してください。【独】

○居室を適切に暖房するため、床下に使用する断熱材は、設置する地域の気候等にあったものを使用してください。

暖・冷房システム（天井暖房ユニット）

優良住宅部品の「暖・冷房システム（天井暖房ユニット）」は、天井に設置される電気式の天井暖房ユニットで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
形態	○天井仕上げ材一体型 ○天井仕上げ材分離型
設置方式 （分離型）	○天井裏面設置 ○天井表面設置 ○つり下げ設置
放熱特性	○一般型 ○高効率型

天井裏面設置

天井表面設置

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○標準施工状態において、天井暖房ユニットからの熱が居室に有効的に放熱されていることを放熱特性試験により確認しています。【独】

○天井仕上げ材一体型にあっては、天井暖房ユニットの表面仕上げ材に支障のあるような割れ、めくれ、変色等がないことを耐熱性能試験、長期加熱繰返し性能試験により確認しています。【独】

○居室を適切に暖房するため、天井裏に使用する断熱材は、設置する地域の気候等にあったものを使用してください。

暖・冷房システム（蓄熱暖房器）

優良住宅部品の「暖・冷房システム（蓄熱暖房器）」は、主に深夜電力などの利用により、電気ヒータを用いて蓄熱体に熱として蓄えると共に、蓄えた熱を必要時に放熱させ室内の暖房を行うもので、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
放熱方式	○自然放熱式 ○強制放熱式
設置方式	○床置型

強制放熱式

自然放熱式

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○通電時間中に投入された電力量（投入熱量）が、本体に効率よく蓄熱されていることを蓄熱効率試験により確認しています。【独】

○非通電時間終了時まで放置した場合であっても、本体に蓄熱した熱を無駄に放熱しないことを残熱率試験（その 1）により確認しています。【独】

○強制放熱式にあっては、投入された電力量（投入熱量）が、無駄なく暖房に利用されていることを残熱率試験（その 2）により確認しています。【独】

○強制放熱式にあっては、運転音が適切であることを運転騒音試験により確認しています。【独】

○通常使用下で連続運転を行った場合や連続通電運転を行った場合の電気的安全性について、第三者性を有する機関による試験により確認しています。【独】

融雪システム

優良住宅部品の「融雪システム」は、多雪地域における住宅の屋根上の積雪及び積雪により発生する「すがもれ」、「つらら」、「雪庇」等を防止するために、屋根雪を屋根面で自動的に融かすシステムです。融雪システムには、屋根面の全面融雪の他に、軒先及び屋根の妻側、玄関廻り等の部分融雪をするものなど、次のようなものがあります。

設置対象建物*1	○戸建住宅、共同住宅
融雪方式	○電熱式【面状発熱体等の電気ヒーターを屋根仕上げ材などの裏に敷設する方式】
主要構成機器	電熱式
	・屋根融雪部（面状発熱体又は線状ヒーター） ・配線 ・制御部（降雪センサー含む） ・操作盤 ・雨樋ヒーター

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在木造戸建住宅を除く住宅に設置可能な認定部品はありません

電熱式施工例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○融雪性能は、融雪性能試験（温度 0～-15℃の環境下で融雪部を発熱させ、融雪部の表面温度分布を確認する試験）により、表示融雪能力の±10%以内であることを確認しています。【独】

○地域により雪質、降雪量などが異なるため、地域の実情に合わせ、融雪部位や融雪面積、融雪能力などを設計する必要があります。

換気ユニット

優良住宅部品の「換気ユニット」は、戸建住宅や共同住宅の台所、浴室、洗面所、便所の換気を行なう場合に必要となる機器で、各部位別に次の機器があります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）

用途分類		設置部位分類		給排気方式	風量分類（静圧−風量） （強運転時の静圧−風量を示す）	風量切替
台所用ファン	遠心送風機型	レンジ用フードファン		強制排気型 強制給排気型	Ⅰ型（50Pa−300～390 ㎥/h） Ⅱ型（70Pa−300～390 ㎥/h） Ⅲ型（100Pa−420～546 ㎥/h） Ⅳ型（130Pa−420～546 ㎥/h）	強、中、弱
		ダクト用ファン		強制排気型		
	プロペラ型	換気扇		強制排気型	15 型（20Pa−240 ㎥/h） 20 型（20Pa−300 ㎥/h） 25 型（20Pa−540 ㎥/h）*1	強、弱
サニタリー用ファン		浴室用		強制排気型 強制給排気型 熱交換型	Ⅰ型（30Pa−50 ㎥/h 以上） Ⅱ型（50Pa−90 ㎥/h 以上） Ⅲ型（70Pa−90 ㎥/h 以上）	強、弱 （Ｉ型を除く）
		便所用			Ⅰ型（30Pa−20 ㎥/h 以上） Ⅱ型（40Pa−20 ㎥/h 以上）	―
		多室用	２室用		Ⅰ型（30Pa−70 ㎥/h 以上） Ⅱ型（70Pa−70 ㎥/h 以上） Ⅲ型（70Pa−110 ㎥/h 以上）	強、弱 （Ｉ型，Ⅱ型を除く）
			３室用		（90Pa−160 ㎥/h 以上）	
居室用ファン*1		居室	壁付け式	強制排気型 強制給排気型 熱交換型	Ⅰ型（10Pa−60 ㎥/h 未満） Ⅱ型（10Pa−60～100 ㎥/h） Ⅲ型（10Pa−100 ㎥/h 以上）	―
			ダクト式		Ⅰ型（30Pa−60 ㎥/h 未満） Ⅱ型（30Pa−60～100 ㎥/h） Ⅲ型（30Pa−100 ㎥/h 以上）	
換気口部品		自然換気用給排気口 機械換気用給排気口 台所用ファン連動給気口（防火ダンパー機能付有り） ダクト接続用外壁用端末給排気口 防火ダンパー（ダクト接続用外壁用端末給排気口付有り） 煙逆流防止型ダンパー（防火ダンパー機能付有り）				

＊1：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定品はありません。

レンジ用フードファン（台所用）

ダクト用ファン（台所用）

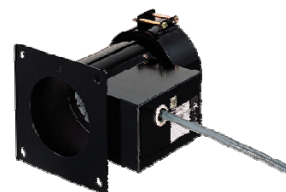
換気扇（台所用）

建具組込型

浴室用（ｻﾆﾀﾘｰ用）

多室用（２室用）（ｻﾆﾀﾘｰ用）

自然換気用給排気口

防火ダンパー

便所用(ｻﾆﾀﾘｰ用)

多室用(３室用)(ｻﾆﾀﾘｰ用)

機械換気用給排気口

煙逆流防止型ダンパー

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

台所用ファン

〇低騒音のための対策が講じられています。【超】

・遠心送風機型：一般型 47dB（A）以下、低騒音型は 40dB（A）以下（強運転時）

・プロペラ型：15 型 50dB（A）以下、20 型及び 25 型 45dB（A）以下（強運転時）

〇レンジ用フードファンは、排気捕集効率試験により排気捕集効率が 70%以上であることを確認しています。【独】

〇常時換気機能を有する場合、常時換気機能が確実に作動するよう、長押しで作動する構造の切りスイッチなどの対策又は機能を求めています。【独】

〇電気的な安全を確保するため、耐絶縁性、耐電圧は第三者機関等による試験で確認しています。【独】

〇BL が定める静圧での比消費電力（W/(m3/h)）の表示を求めています。【独】

サニタリー用ファン

〇浴室暖房機能を有するものについては、暖房性能試験により浴室洗い場の平均温度上昇値が、15 分以内に 7K 以上であることを確認しています。【独】

〇衣類乾燥機能を有するものについては、乾燥試験により 120 分以内に乾燥度が 97%以上であることを確認しています。【独】

〇常時換気機能を有する場合、常時換気機能が確実に作動するよう、長押しで作動する構造の切りスイッチなどの対策又は機能を求めています。【独】

〇電気的な安全を確保するため、耐絶縁性、耐電圧は第三者機関等による試験で確認しています。【独】

〇浴室用は、機器本体が水に濡れた状態でも異常がなく安全に運転できるように対策が講じられています。【独】

〇BL が定める静圧での比消費電力（W/(m3/h)）の表示を求めています。【独】

居室用ファン

〇低騒音のための対策が講じられています。【超】

・一般型 45dB（A）以下、低騒音型は 35dB（A）以下、静音型 30 dB（A）以下

〇熱交換型は、試験により給排気割合 80%以上、有効換気量率 85%以上、温度交換効率 65%以上であることを確認しています。【超】

〇常時換気機能を有する場合、常時換気機能が確実に作動するよう、長押しで作動する構造の切りスイッチなどの対策又は機能を求めています。【独】

〇電気的な安全を確保するため、耐絶縁性、耐電圧は第三者機関等による試験で確認しています。【独】

〇BL が定める静圧での比消費電力（W/(m3/h)）の表示を求めています。【独】

換気口部品

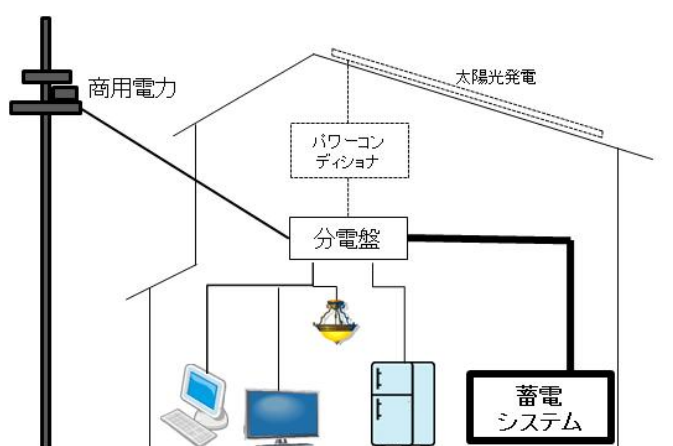
〇確実に通気量を確保できるよう、通気量試験により圧力損失が少ないことを確認しています。【独】

〇台所用ファン連動給気口は電気的な安全を確保するため、耐絶縁性、耐電圧は第三者機関等による試験で確認しています。【独】

家庭用据置型リチウムイオン蓄電システム

優良住宅部品の「家庭用据置型リチウムイオン蓄電システム」は、商用電力等から蓄電し、平常時の電力使用のピークカットや停電時のバックアップとしても対応可能な蓄電システムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅
設置方式	○屋内用、屋外用
連携例	○太陽光発電設備 ○ＨＥＭＳ機器

平成 27 年 4 月 1 日現在認定部品はありません。

	平常時	停電時
蓄電	商用電力 ↓ 蓄電システム	－
放電	蓄電システム ↓ 家電製品等	蓄電システム ↓ 家電製品等

蓄電システムの設置例

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○蓄電システムから供給される電力で、家電製品等が安定して動作する様、出力電圧精度および出力周波数精度等の電力品質に係る性能をＵＰＳの形式試験にて確認しています。【独】

○生活環境上支障のない様に、充放電時における騒音レベルが 45dB(A)以下であることを騒音試験にて確認しています。（低騒音型については 40dB(A)以下）【独】

○平常時の電力使用のピークカットなどが確実に行える様、時間帯別などで充放電の切替えが可能なタイマー機能を有しています。【独】

○使用者の操作性や使用状況の把握等ができる様、充・放電等の使用状況を表示する機能を有しています。【独】

○蓄電池の発火や破裂の危険に対しての安全性を確保するための試験（加熱特性・過充電特性・強制放電特性・類焼特性など）を実施して安全性を確認しています。【独】

○地震時の揺れや振動などの外力に対して、機器本体の取付強度が充分に確保されていることを取付強度試験にて確認しています。【独】

○蓄電池の充放電の繰返しなどに対して、充分な耐久性を有することをサイクル試験にて確認しています。【独】

○蓄電システムのケーシングは、充分な耐食性を有することを中性塩水噴霧試験にて確認しています。

○使用者が安全かつ確実に廃棄出来る様、廃棄処理フロー・体制・責任範囲などについて、その考えを明らかにすると共に、カタログや取扱説明書などにより情報提供することとしています。【独】

給水ポンプシステム

優良住宅部品の「給水ポンプシステム」は、受水タンクを介して床置ポンプ又は水中ポンプにより、共同住宅等に直接給水するユニットで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（共用部）、戸建住宅
給水圧力 制御方式	○ポンプ回転数制御方式 ○大型圧力タンク制御方式 ○小型圧力タンク制御方式
ポンプ故障時対策	○なし（ポンプ単独運転） ○あり（複数ポンプによる交互運転等）

小型圧力タンク制御方式

大型圧力タンク制御方式

ポンプ回転数制御方式

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○システムとしての電気的な安全を確保するための対策が講じられています。【独】
（絶縁抵抗、耐電圧、漏電に関し、第三者機関による試験を実施）

○給水装置としての水質が安全であるように対策が講じられています。【独】
（「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令（平成 9 年厚生省第 14 号)」の基準を満たすため、「水道用器具-浸出性能試験」を実施）

○複数台のポンプを組み合わせたものは、各ポンプの運転頻度の平準化を図るため、並列運転、解列運転が自動で制御されるようになっています。【独】

○動作頻度の高い部品について、十分な耐久性が確保されています。【独】
（作動繰り返し試験を実施 : 圧力開閉器、流量開閉器、フローリレーについて 10 万回、隔膜式圧力タンクについて 50 万回）

○給水量は、建物や水の使用用途・使用人員・給水栓数等を考慮して決定します。給水ポンプシステムの場合は、瞬時最大使用水量から求められます。決定にあたっては、各種算定方式があり、その特長や使用実態に応じた算定方式を選択することが大切です。

○ポンプの振動により下層階や隣の部屋に騒音が発生する恐れがある場合は、防振装置等を設置してください。

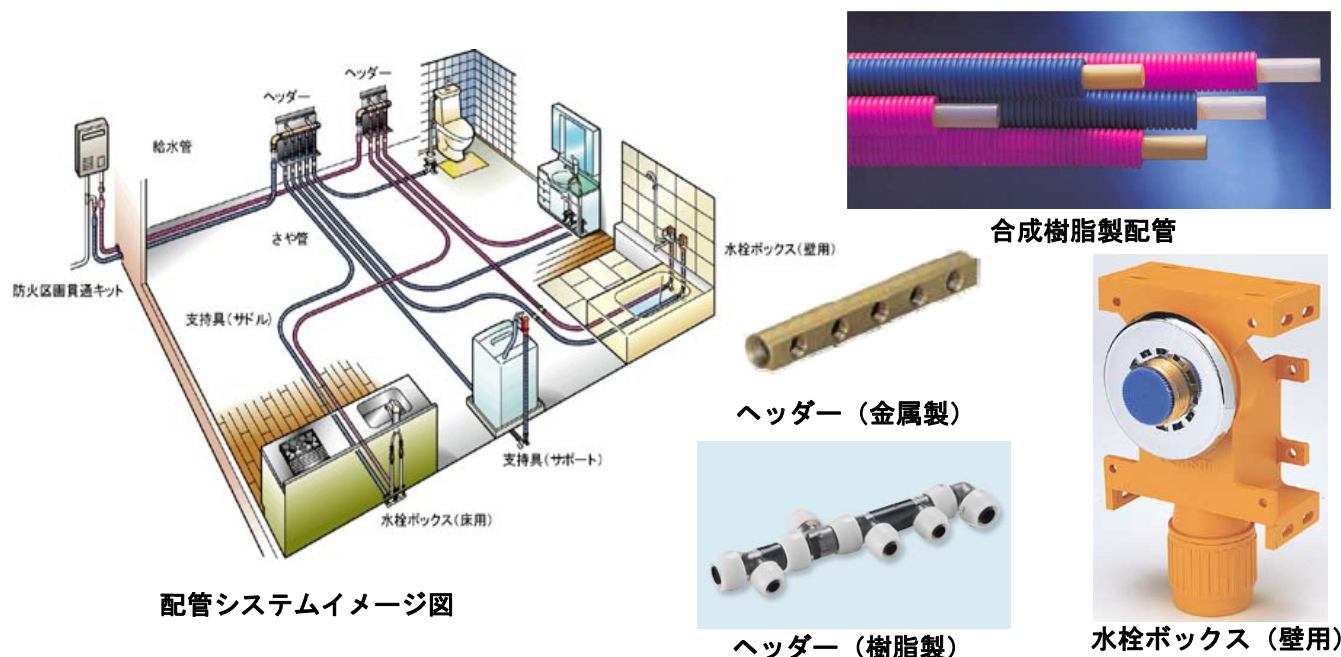
○水道事業体ごとに設計・施工基準があるので、事前に協議が必要です。

○給水ポンプシステムを長期間安心してご使用いただくためには、日常点検、定期点検及び部品の取替え等の保守管理を適切に行い、性能を維持し故障の防止を図ることが必要です。予防保全を目的とした保守計画を組まれ実施されることをおすすめいたします。

○定格出力 0.75KW 以上の三相誘導電動機は、JIS C 4213 : 2014（低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ）の「7.3 効率」の基準を満たしています。（水中ポンプは除く）【確】

配管システム

優良住宅部品の「配管システム」は、さや管ヘッダー方式により住宅内の各水栓に給水及び給湯を行うシステムで、次のようなものがあります。

設置対象建物	○　共同住宅（住戸部）、戸建住宅
配管材料	○　合成樹脂製（架橋ポリエチレン製、ポリブテン製）

配管システムイメージ図

合成樹脂製配管

ヘッダー（金属製）

ヘッダー（樹脂製）

水栓ボックス（壁用）

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○システムとして十分な吐出流量が確保できるものとなっています。【独】

（水栓単独使用時の最大吐出量、水栓同時使用時の吐出温度と吐出流量を規定しています。）

○施工性、更新性に優れたものとなっています。【独】

（通管時に、管の破損、潰れ、座屈、有害な傷及び異常な変形がないものとなっています。）

○継手部分、さや管は、機能確保のため十分な強度を有したものとなっています。【独】

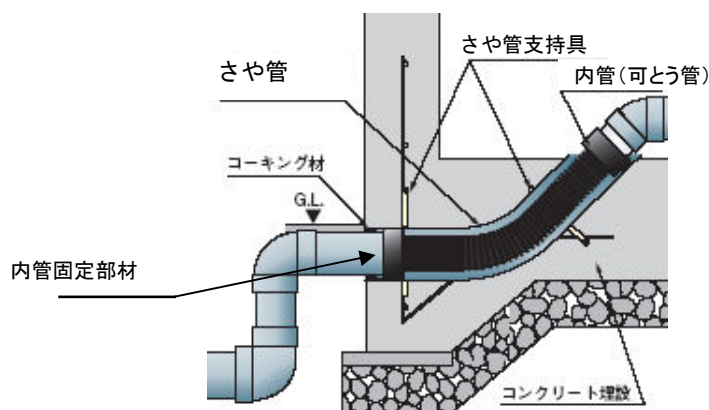
・継手部分の引張り強度試験を実施しています。

・さや管の屈曲弾力性試験を実施しています。（呼び径 22 未満 : 40N 以上、22 以上 : 100N 以上）

○最大曲り数、最小曲げ半径、管とさや管の対応口径等について、カタログ等で情報提供がされています。【独】

基礎貫通排水管ユニット

優良住宅部品の「基礎貫通排水管ユニット」は住宅の排水管等を基礎及びスラブ等に貫通させる部分に用いる排水管ユニットで、さや管、内管、接続部材等で構成されたものを認定の対象としています。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅
スリーベンド管タイプ	○標準基礎用、深基礎用 ○管径　50、75、100

基礎貫通排水管ユニットの例

■特徴

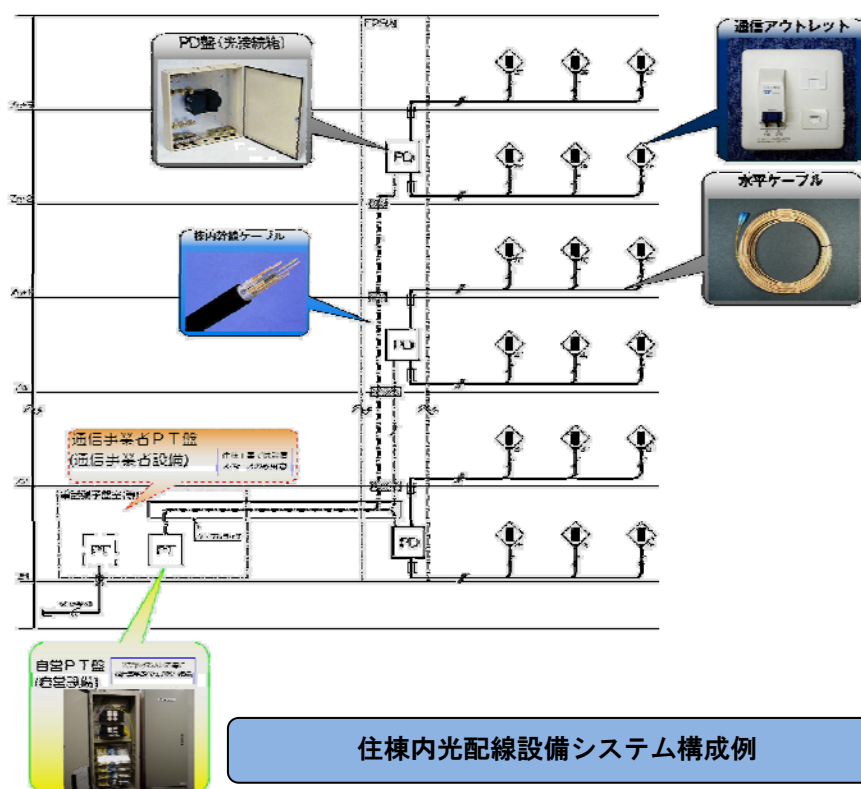
凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○内管の十分な通水の確保及びさや管に内管を通したとき、破損、潰れ、有害な傷及び異常な変形が無いよう、内管の通水性試験及び通管性試験によって確認しています。【独】
○内管の交換に際し、さや管、基礎を傷めず容易に更新が可能であるよう対策が講じられており。内管の更新性試験によって確認しています。【独】
○さや管及び内管の隙間から雨水、シロアリ等が浸入しないよう適切な措置が講じられています。【独】
○さや管の剛性、内管の耐圧性能を確認しています。【独】
○内管、接続部材の家庭用洗剤、油等に対する耐薬品性及び、高温水に対する十分な耐熱性を確認しています。【独】
○さや管の施工にあたり、排水管ユニットの設置が可能な基礎型式を明確にしたうえで、基礎の強度を低下させないさや管の固定方法、基礎配筋の取合い、配筋のかぶり厚、取り合い等に対する配慮事項を施工要領書等で情報提供がなされます。【独】

光配線システム機器

「光配線システム機器」は、共同住宅においてインターネットなどの情報通信設備を住戸まで直接光ファイバで引き込み、高速大容量通信を光伝送で提供する「FTTH（Fiber To The Home)」方式の設備を自営配線設備として構成する際に使用できます。
優良住宅部品の「光配線システム機器」には次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（共用部、住戸部）
種類	自営 PT 盤（光成端箱） 【棟内幹線ケーブルの起点となる配線盤。光コネクタによるパッチパネルを有し、事業者の光ファイバ幹線と相互接続する際の設備分界点となります。】
	PD 盤*　（光接続箱） 【棟内幹線ケーブルと水平ケーブルを接続する配線盤。】
	光アウトレット（TO） 【水平ケーブルを成端し、端末接続配線へのインターフェースを提供する接続機器。】

＊：平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品の認定部品はありません。

住棟内光配線設備システム構成例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

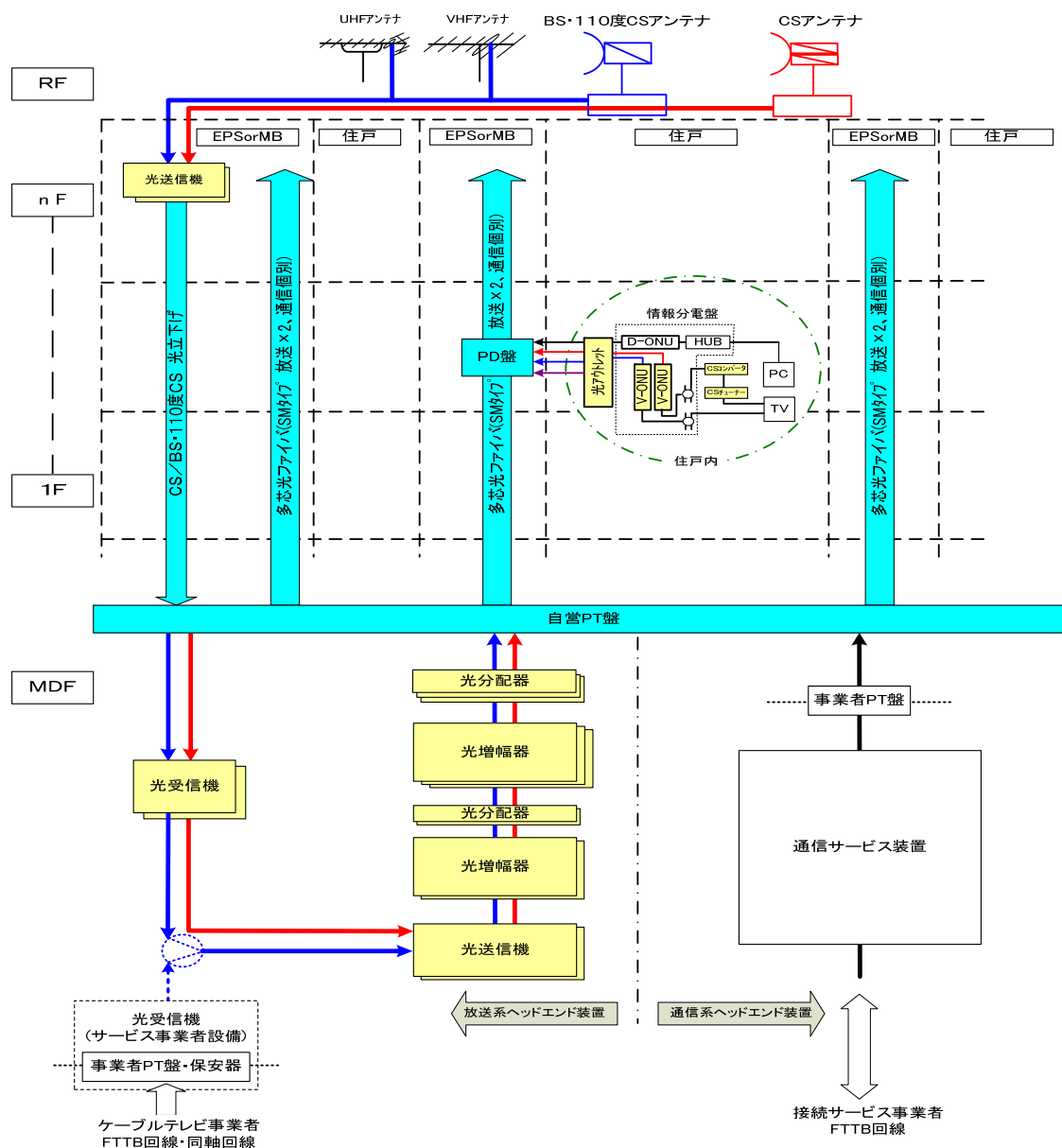
○光配線システム機器間を流れるレーザー光が直接使用者の目に触れることのないよう対策が講じられています。
【独】
（住戸内に施設される光アウトレットは、以下のようなレーザー光暴露防護機能を備えています。）
- 自動開閉式遮光シャッタ
- 利用者側コネクタの開口部が物理的にのぞけない構造
- 利用者側コネクタの開口部が利用者の視線と容易に対向しない方向となる構造

○施工者に対して、自営 PT 盤、PD 盤が不可視レーザー光使用設備であることの警告表示を見やすくなるよう対策が講じられています。【独】

○光配線システム機器の自営 PT 盤、PD 盤、光アウトレットは、当財団が制定した「集合住宅における自営光配線設備の設計基準（平成 20 年 12 月 1 日）」に基づき設計されたシステムに使用されることを前提としています。同設計基準は、当財団ホームページからダウンロードが可能です。

＜参考＞

光伝送路を利用して提供される主要サービスとして、インターネットに代表される通信サービスとテレビに代表される放送サービスがあります。優良住宅部品の「光配線システム機器」は、「テレビ共同受信機器（同軸伝送）」及び「テレビ共同受信機器（光伝送）」で認定された優良住宅部品と組み合わせ、伝送路に多心光ファイバケーブルを使用することにより、これまで各々必要とされた同軸ケーブルと UTP ケーブルを光配線により統合することが可能となります。

さらに、インターホン設備、機械警備などについても光配線への統合が可能で、各種情報通信システムの統合ソリューションシステム設備として、施設規模に関係なく信号品質の均一化が確保されます。

テレビ共同受信機器（同軸伝送、光伝送）

「テレビ共同受信機器（同軸伝送）」は、テレビ放送の共同聴視設備に用いる、アンテナ、同軸伝送用受信機器です。
優良住宅部品の「テレビ共同受信機器（同軸伝送）」には次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（共用部、住戸部）、事務所、学校、病院、ホテル、旅館へ設置が可能

種　　類					型　　式	備　考
地上放送用アンテナ	ＦＭ放送帯域用	76～90MHz	アルミニウム		ＶＳ－ＦＭ	素子数５相当
	ＵＨＦ低域用	470～602MHz（ch13～34）			ＵＬＮ－２０	素子数 20 相当
	ＵＨＦ全帯域用	470～710MHz（ch13～52）			ＵＷＮ－２０	
	ＦＭ放送帯域用	76～90MHz	ステンレス		ＶＳ－ＦＭＳ	素子数５相当
	ＵＨＦ低域用	470～602MHz（ch13～34）			ＵＬＮ－２０Ｓ	素子数 20 相当
	ＵＨＦ全帯域用	470～710MHz（ch13～52）			ＵＷＮ－２０Ｓ	
衛星放送用アンテナ	ＢＳ・１１０度ＣＳ受信用	パラボラ型コンバータ付き	75cm 型		ＣＳＢＳＡ－７５	
			90（100）cm 型		ＣＳＢＳＡ－９０（１００）	
	ＣＳ受信用（1 衛星対応）	パラボラ型コンバータ付き	75cm 型		ＣＳＡ－７５	124 度又は 128 度受信型
			90（100）cm 型		ＣＳＡ－９０（１００）	
受信機器	ブースタ	ＣＡＴＶ	770MHz 幹線用		ＣＡＴＶ－Ｔ１	双方向
			770MHz 分配用		ＣＡＴＶ－１	
		ＣＳ・ＢＳ-ＩＦ・ＵＨＦ・ＦＭ			ＣＳ・ＢＳ・ＵＦ－１Ｗ	
		ＣＳ・ＢＳ-ＩＦ			ＣＳ・ＢＳ－１Ｗ	
		ＣＡＴＶ・ＣＳ・ＢＳ-ＩＦ			ＣＡＴＶ・ＣＳ・ＢＳ－１	CATV は双方向
		ＣＡＴＶ・ＣＳ・ＢＳ-ＩＦ			ＣＡＴＶ・ＣＳ・ＢＳ－２Ｗ－Ｈ	
	混合（分波）器	屋内用	Ｕ/Ｖ型		Ｍ－ＵＶ－７	
			ＣＳ･ＢＳ/ＵＶ型		ＣＳ－ＭＷ	
		屋外用	Ｕ/Ｖ型		ＭＣ－ＵＶ－７	
			ＣＳ･ＢＳ/ＵＶ型		ＣＳ－ＭＣＷ	
			ＣＳ・Ｖ/Ｈ型		ＣＳ－ＶＨＭＣ	
	分配器	2602MHz 用	２分配器		ＣＳ－Ｄ２Ｗ	双方向
			４分配器		ＣＳ－Ｄ４Ｗ	
			６分配器		ＣＳ－Ｄ６Ｗ	
			８分配器		ＣＳ－Ｄ８Ｗ	
	分岐器	2602MHz 用	１分岐器		ＣＳ－Ｃ１Ｗ	双方向
			２分岐器		ＣＳ－Ｃ２Ｗ	
			４分岐器		ＣＳ－Ｃ４Ｗ	
	直列ユニット	2602MHz 用	１端子	中間用	ＣＳ－７Ｆ－７Ｗ	双方向
				端末用	ＣＳ－７Ｆ－ＲＷ	
			２端子	中間用	ＣＳ－７７Ｆ－７Ｗ	
				端末用	ＣＳ－７７Ｆ－ＲＷ	
		2602MHz 用 上り信号 カット機能付	１端子	中間用	ＣＳ－７Ｆ－７ＳＷ	双方向
				端末用	ＣＳ－７Ｆ－ＲＳＷ	
			２端子	中間用	ＣＳ－７７Ｆ－７ＳＷ	
				端末用	ＣＳ－７７Ｆ－ＲＳＷ	
	テレビ端子	2602MHz 用	１端子	-	ＣＳ－７ＦＷ	双方向
			２端子	-	ＣＳ－７７ＦＷ	
		2602MHz 用 上り信号 カット機能付	１端子	１個口用	ＣＳ－７ＦＳＷ（１）	
				３個口用	ＣＳ－７ＦＳＷ（３）	
			２端子	３個口用	ＣＳ－７７ＦＳＷ	

■特徴

凡例　【独】:BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】:法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
　　　【超】:他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○放送メディアの動向を先取りして、常に最新メディアへ対応できるよう認定基準の改定を行っています。【超】

○各機器の型式に対して電気的性能が明確化されているため、受信するテレビ放送の種類に応じて確実に各住戸まで伝送するための設計が容易に行えます。【独】

○ケーブルテレビ局が行うインターネット接続サービスにも対応しています。【超】

○将来的な左旋円偏波にも対応した 2.6GHz 伝送システムにも対応しています。【超】

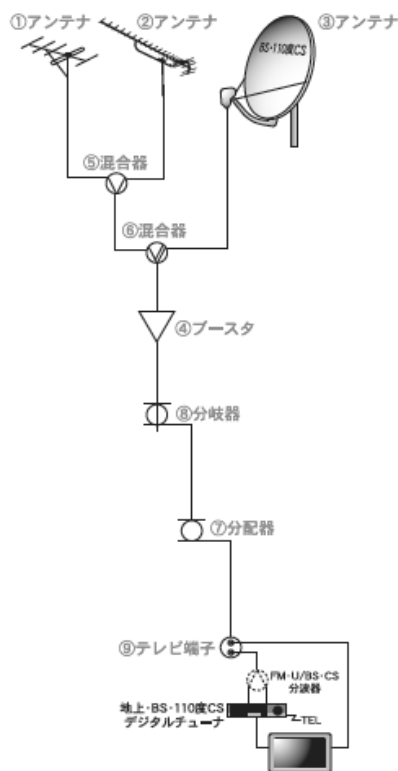
○アンテナについては、強風時に破壊等しないよう対策が講じられています。【独】

・地上放送用アンテナ:反射素子及びアームにＦＭアンテナ及びアルミ製ＵＨＦアンテナは風圧加重(風速45m/s)、ステンレス製ＵＨＦアンテナは風圧加重(風圧 60m/s)に

相当する荷重を加えたときに、破壊せず、受信機能が低下しないことを確認しています。

・衛星放送用アンテナ:反射鏡の正面方向及び裏面方向から風圧荷重（風速 60m/s）に相当する荷重を加えたときに破壊がないことを確認しています。

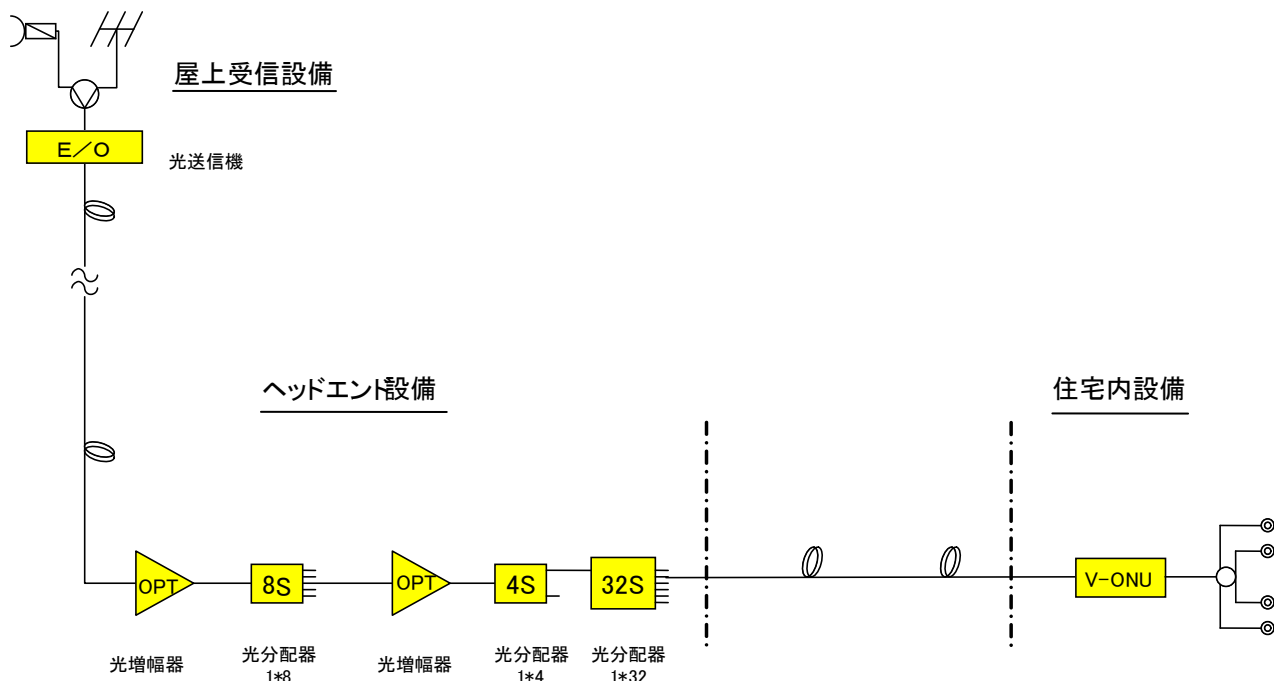
○必要な機器を組み合わせてシステムを構成することにより、ＵＨＦ、ＦＭ、ＣＡＴＶ、ＢＳ、ＣＳの各放送を選択・組み合わせて受信できるようになっています。【独】

例）ＦＭラジオ・地上デジタル・ＢＳ・１１０度ＣＳ伝送システム（分岐・分配方式の場合）

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">アンテナ</th><th colspan="2" rowspan="2">受信帯域</th><th rowspan="2">素子数</th><th colspan="2">ＢＬ型式</th></tr>
<tr><th>ｱﾙﾐﾆｳﾑ</th><th>ｽﾃﾝﾚｽ</th></tr>
<tr><td>①</td><td rowspan="3">地上放送</td><td colspan="2">ＦＭ放送帯域</td><td>5</td><td>VS-FM</td><td>VS-FMS</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②</td><td rowspan="2">ＵＨＦ</td><td>低域用</td><td>20</td><td>ULN-20</td><td>ULN-20S</td></tr>
<tr><td>全帯域用</td><td>20</td><td>UWN-20</td><td>UWN-20S</td></tr>
<tr><th></th><th>アンテナ</th><th colspan="2">受信帯域・サイズ</th><th>形状</th><th colspan="2">ＢＬ型式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td rowspan="2">衛星放送</td><td rowspan="2">BS・110 度 CS
（右旋用）</td><td>75 型</td><td rowspan="2">ﾊﾟﾗﾎﾞﾗ型
ｺﾝﾊﾞｰﾀ付</td><td colspan="2">CSBSA-75</td></tr>
<tr><td>90(100)型</td><td colspan="2">CSBSA-90(100)</td></tr>
<tr><th></th><th colspan="2">受信機器</th><th colspan="2">受信帯域・機能</th><th colspan="2">BL 型式</th></tr>
<tr><td>④</td><td colspan="2">ブースタ</td><td colspan="2">CS・BS/UHF・VHF（FM）</td><td colspan="2">CS・BS・UF-1W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑤</td><td colspan="2" rowspan="4">混合（分波）器</td><td colspan="2" rowspan="2">UHF・VHF（FM）</td><td colspan="2">M-UV-7</td></tr>
<tr><td colspan="2">MC-UV-7</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td colspan="2" rowspan="2">CS・BS/UHF・VHF（FM）</td><td colspan="2">CS-MW</td></tr>
<tr><td colspan="2">CS-MCW</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑦</td><td rowspan="4">分配器</td><td>2 分配器</td><td colspan="2" rowspan="4">CS・BS/UHF・VHF（FM）
(2602MHz 型)</td><td colspan="2">CS-D2W</td></tr>
<tr><td>4 分配器</td><td colspan="2">CS-D4W</td></tr>
<tr><td>6 分配器</td><td colspan="2">CS-D6W</td></tr>
<tr><td>8 分配器</td><td colspan="2">CS-D8W</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑧</td><td rowspan="3">分岐器</td><td>1 分岐器</td><td colspan="2" rowspan="3">CS・BS/UHF・VHF（FM）
(2602MHz 型)</td><td colspan="2">CS-C1W</td></tr>
<tr><td>2 分岐器</td><td colspan="2">CS-C2W</td></tr>
<tr><td>4 分岐器</td><td colspan="2">CS-C4W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑨</td><td rowspan="2">テレビ端子</td><td>1 端子型</td><td colspan="2" rowspan="2">CS・BS/UHF・VHF（FM）
(2602MHz 型)</td><td colspan="2">CS-7FW</td></tr>
<tr><td>2 端子型</td><td colspan="2">CS-77FW</td></tr>
</table>

優良住宅部品の認定基準には、大規模集合住宅等でアンテナ又はケーブルテレビで受信したテレビ放送の電気信号を光信号に変換し、各住戸に設けた V-ONU まで光ファイバーを用いてテレビ放送を伝送する「テレビ共同受信機器（光伝送)」もあります。

優良住宅部品の「テレビ共同受信機器（光伝送)」には次のようなものがあります。

設置対象建物	○共同住宅（共用部、住戸部）、事務所、学校、病院、ホテル、旅館へ設置が可能			
種　類			型　式	備考
光送信機	ラック取付け		EO—1R	屋内用
	壁面取付け		EO—1	
光受信機	ラック取付け		OE—1R	屋内用
	壁面取付け		OE—1	
光増幅器	ラック取付け	出力 14dBm	OA—1R	屋内用
		出力 20dBm	OA—2R	
	壁面取付け	出力 14dBm	OA—1	屋内用
		出力 20dBm	OA—2	
光分配器	ラック取付け	分配数 2	OD—2R	屋内用
		分配数 4	OD—4R	
		分配数 8	OD—8R	
		分配数 16	OD—16R	
		分配数 32	OD—32R	
V - ONU	壁面取付け	SMATV 用	VO—1	屋内用
		CATV 用	VO—2	

＊平成 27 年 4 月 1 日現在優良住宅部品「テレビ共同受信機器（光伝送)」の認定部品はありません。

優良住宅部品の認定基準「テレビ共同受信機器（光伝送)」の基準に定める部品を活用したシステム構成例

住宅用火災警報器

優良住宅部品の「住宅用火災警報器」は、火災で発生する煙や熱を感知して、お知らせする家庭用の火災警報器で、次のようなものがあります。

（住宅火災で亡くなる原因の大半は逃げ遅れによるもので、住宅用火災警報器は火災で亡くなる方を減らす目的で消防法により設置が義務づけられております。）

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部）
感知方式	○光電式【火災による煙を感知し警報を発するもの】 ○定温式【火災による熱を感知し警報を発するもの】
電源方式	○電池方式
設置場所	○寝室と、寝室につながる階段または廊下のほか、各市町村の条例によって台所や居室などに設置
ＢＬ-bs 部品の特長	○ユニバーサルデザインによる安心【聴き取りやすい警報】

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○高齢者や聴覚障害者に対して、火災警報が覚知できるよう、補助警報装置等へ信号が発信できる構造としています。【独】

○高齢者等の聴力の衰えに配慮し、警報音は聴き取りやすいものとなっています。【独】
（警報音に低音域の音を含ませる、又は警報音の音圧を 80ｄＢ（A）以上に高めています。）

○警報停止操作や点検操作が高齢者等にも行いやすいよう対策が講じられています。【独】

○設置された住宅用火災警報器の管理が住宅供給者において適切に行えるよう、「いつ」、「どこに」、「だれが」取り付けたかのトレーサビリティ情報管理が、個体識別システムに基づく個体識別により出来るものとなっています。

○消防法で義務づけられている場所は、寝室と、寝室につながる階段又は廊下ですが、それに加えて各市町村の条例によって台所や居室などの設置を義務づけている地域もあります。

○住宅用火災警報器には、火災で発生する煙を感知して知らせる煙式（光電式）と、火災の熱を感知して知らせる熱式（定温式）の 2 種類があります。
煙式は調理の煙や湯気などによって警報を出す場合がありますので、各市町村の条例により、火災以外の煙が発生しやすい台所などに設置が求められる場合は熱式の警報器を選ぶことができます。

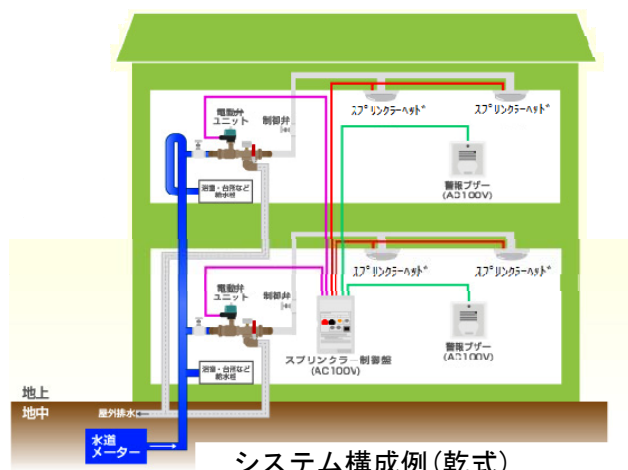
スプリンクラー設備

優良住宅部品の「スプリンクラー設備」は、火災により生じる熱を感知し、自動的に水を放出することにより、火災を消火又は抑制する設備で、次のようなものがあります。

設置対象建物	○戸建住宅、共同住宅（住戸部・共用部）
設備方式	○給水管直結タイプ 【スプリンクラー配管が給水管に直結しており、水道圧により送水する方式】 ○専用配管タイプ 【スプリンクラー配管が給水管に直結せず、ポンプ等の力により送水する方式】
	○湿式 【通常時、スプリンクラー配管内に水が充満しているもので、スプリンクラーヘッドが動作すると水を放出するもの】 ○乾式 【通常時、スプリンクラー配管内に水が充満していないもので、スプリンクラーヘッドが動作すると電動弁を開放し水を放出するもの】 ○予作動式 【火災感知器とスプリンクラーヘッドが火災によって両方作動した場合にスプリンクラーヘッドから水が放水されるもの】

※　平成 27 年 4 月 1 日時点での優良住宅部品は、消防法による「特定施設水道連結型スプリンクラー設備」及び一般住宅、集会室等に自主設置を行うスプリンクラー設備です。

（消防法施行令第 12 条第 1 項第 12 号のスプリンクラー設備及び特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令（平成 25 年総務省令第 28 号）の「共同住宅用スプリンクラー設備」ではありません。）

システム構成例（乾式）

スプリンクラーヘッド

電動弁ユニット

警報ブザー

スプリンクラー制御盤

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○警報音により、スプリンクラー設備が動作したことをお知らせします。【独】
（ブザー等の警報部から１m離れた場所において、音圧が 70dB 以上で 1 分間以上継続して警報音を発することを試験により確認しています。）

○設置する地域の水道水圧が、本設備で必要となる圧力よりも大きいことを確認してください。水圧が不足する場合にはポンプなどを設置してください。

エレベーター

優良住宅部品の「エレベーター」には、主に新築共同住宅向けの「マシンルームレス型エレベーター」、５階建て以下の既存共同住宅を対象とした「小規模共同住宅用エレベーター(単体)」、既存階段室型共同住宅を対象とし、昇降路建物（シャフトユニット）が一体となった「階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路建物一体)」、その昇降路建物部分のみを扱う「階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路ユニット)」があります。

○マシンルームレス型エレベーター

設置対象建物	○ＲＣ造共同住宅（共用部）
最大定員	○6 人、9 人、13 人
定格速度	○45m/min、60m/min、90m/min、105m/min
福祉型仕様有無	○なし ○あり【車椅子兼用仕様、視覚障害者仕様】

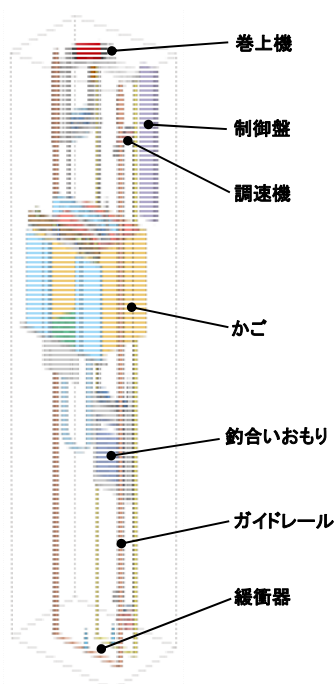
○小規模共同住宅用エレベーター(単体)

設置対象建物	○5 階建て以下の既存共同住宅（共用部）
最大定員	○2 人、3 人、4 人
定格速度	○30m/min、45m/min

○階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路建物一体)

設置対象建物	○5 階建て以下の既存階段室型共同住宅（共用階段部）
最大定員	○2 人、3 人、4 人
定格速度	○30m/min、45m/min

○階段室型共同住宅用エレベーター(昇降路ユニット)

設置対象建物	○5 階建て以下の既存階段室型共同住宅（共用階段部）

エレベーター構造図（例）

エレベーターかご内（例）

階段室型共同住宅用エレベーター（昇降路建物一体）例

階段室型共同住宅用エレベーター（昇降路ユニット）例

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○乗り心地性能の確保のため、エレベーター起動･停止時の加減速や走行時の振動について、乗心地試験により確認しています。【独】

○いたずらや誤操作対策等に、不要な呼びをキャンセルする機能を装備しています。【独】

○防犯性を高めるため、かご内が見渡せるよう防犯窓を設置することとしています。また防犯カメラが必要に応じ設置できるようになっています。【超】

○制動機及び巻上機については、安全を確保するため第三者機関による試験を行っています。【独】

○配置・仕様設計

エレベーターは、健常者のみならず高齢者・障害者等が安全かつ円滑に垂直移動を行うための有効な手段であるので、誰もが利用しやすいように建築物の中でなるべく分かりやすい位置に設け、案内表示を適切に設置すること等が求められます。また建物規模・用途から想定される利用人数からエレベーター交通計算を行い、台数、定員、速度等の決定をする必要があります。

各種オプション（車椅子仕様、視覚障害者対策仕様、防犯カメラ、遠隔監視・点検、サービス切り離し等）は、その建物用途や施主の要望を確認しながら仕様を決定してください。

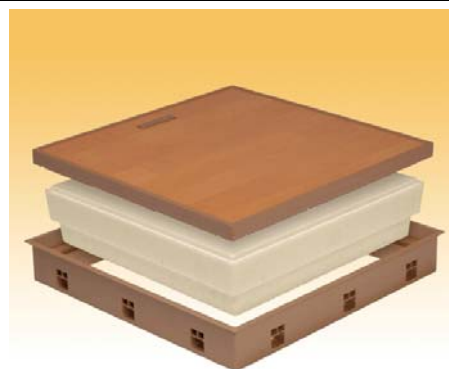
○施工

エレベーターは機械単体では成り立たず、シャフトを構成する躯体や電気動力があってはじめて利用できるものです。建物建設の工程の中で、建物着工前から建築工事や電気工事請負者と十分な調整を行い、躯体寸法や動力、通信系統のシャフトへの飛び込み位置、工事区分などについて決定していき、定例会議等にも出席して都度情報交換を行っていく必要があります。このような手順を経て始めて、実際のエレベーター設備を据え付ける工事が可能となります。

床下点検口（気密・断熱型）

優良住宅部品の「床下点検口」は、床下の点検を行うために、戸建住宅の床部分に設置する気密・断熱性に優れた点検口で、次のようなものがあります。

設置対象建物		○戸建住宅
気密・断熱性能	気密・断熱型	○熱貫流率が 0.34<U≦0.48 で、品確法省エネルギー対策等級の気密性が A-3 相当のもの
	高気密・高断熱型	○熱貫流率が U≦0.34 で、品確法省エネルギー対策等級の気密性が A-4 相当のもの
床下収納庫対応		○なし ○収納庫対応型

気密・断熱型

高気密・高断熱型

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○使用上想定される荷重及び衝撃力に対して、十分な強度を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

・蓋の集中荷重試験を実施（蓋の中央部に 980N の局部集中荷重を加えたとき最大たわみが 3mm 以下であることを確認）

・蓋の中央部に質量 30kg の砂袋を 50 cmの高さから落として衝撃を与え、使用上の支障がないことを確認

・床下収納庫対応のものについて、収納庫に容積 1 リットル当たり 1kg の荷重を加え、各部に異常がないことを確認

○歩行に支障がないことが確認しています。【独】

・床面との段差が 3mm 以下、歩行に際して蓋のきしみやガタツキがないことを確認

○床下収納庫対応のものについて、蓋の開閉の繰返しに対して十分な耐久性を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

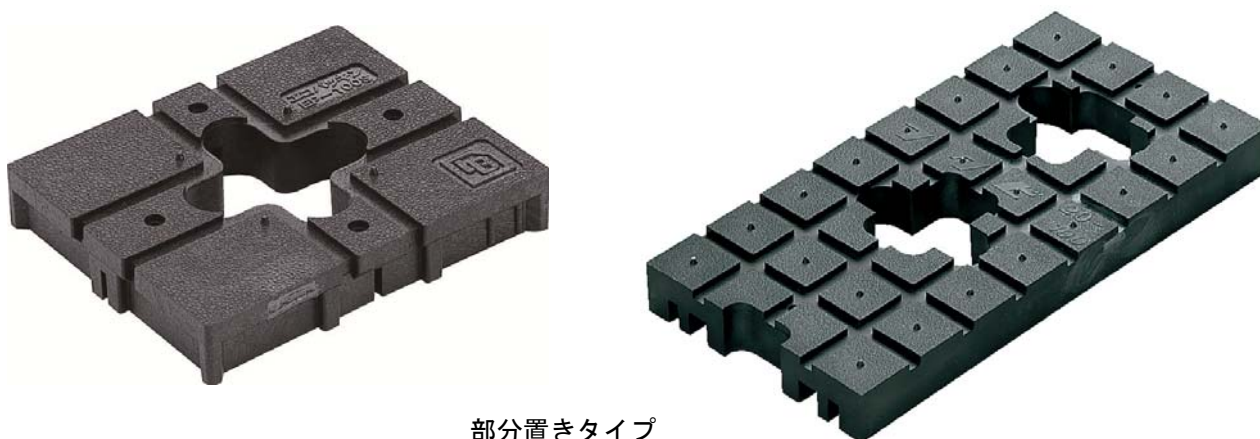
・蓋の開閉繰返し試験を実施：往復で連続 4,000 回の開閉繰返しを行い、使用上の支障がないことを確認

○蓋板の仕上げは、シート張り完成品、クッションフロア合わせタイプ、フローリング合わせタイプの 3 種類が選択できるものがあります。蓋板に床板を使用する場合は、板厚等が標準仕様に合うか確認を行ってください。

○複数のサイズ(450×600、600×600)がありますので、事前に設置位置等の確認を行ってください。

床下換気用土台スペーサー

優良住宅部品の「床下換気用土台スペーサー」は、軸組構法又は枠組壁工法の住宅の基礎工事及び床組工事において、床下換気を確保するために布基礎又はべた基礎（立ち上がりを有するもの）上に設置する土台スペーサーです。

設置対象建物	○木造戸建住宅
設置方式	○部分置きタイプ

部分置きタイプ

■特徴

凡例　【独】：BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】：法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】：他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○長期荷重に対して十分な強度を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

・鉛直荷重による剛性試験を実施：長期鉛直荷重を 5 週間以上加えるクリープ試験により、50 年間相当の長期荷重に対して変形が 1mm 以下であることを確認

○外気温の変化に対して十分な強度を持ったものであることを試験により確認しています。【独】

・異なる温度環境下における剛性試験を実施：40℃の高温時及び-20℃の低温時に、短期鉛直荷重に対する変形が 1mm 以下であることを確認

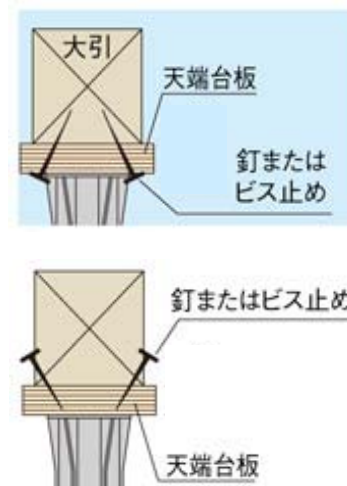
○床下の換気口面積が建築基準法に規定する開口面積（基礎長さ 5m ごとに 300ｃ㎡以上）に相当する通気量が確保できるものとなっています。【独】

樹脂製住宅用床束

優良住宅部品の「樹脂性製宅用床束」は、住宅の床組工事において、大引に使用する樹脂製の床束です。

設置対象建物	戸建住宅	
大引き固定方法	大引受座タイプ	大引を樹脂製ガイドに挟み、釘で固定します。
	天端台板タイプ	天端の合板台板に大引を乗せ上又は下から釘で固定します。

大引受座タイプ

天端台板タイプ

■特徴

凡例　【独】: BL独自の要求性能を具備しているもの　　【確】: 法令の要求性能を具備していることを確認しているもの
【超】: 他の規格・基準や一般製品に比して上まわる性能を具備しているもの

○床束の積載荷重に対する強度、剛性、長期荷重に対するクリープ、繰り返し衝撃力を試験で確認しています。【独】

○施工後でも高さ調整が可能です。【独】

○束の高さは 138 ㎜～725 ㎜に調整できます。【独】

○天端台板タイプの台板は防虫・防腐・防蟻処理が施されています。【独】

○大引受座に使用できる大引は、３寸、３．５寸兼用です。

2. 品目別の優良住宅部品(ＢＬ部品)供給者一覧

優良住宅部品(ＢＬ部品)を供給している企業は以下のとおりです。

＜玄関まわり＞

玄関ドア

三協立山株式会社
三和シヤッター工業株式会社
日本フネン株式会社
フジメタル株式会社
文化シヤッター株式会社
株式会社モリテック・インターナショナル
株式会社ＬＩＸＩＬ
ルーテス株式会社
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

改修用玄関ドア

三協立山株式会社
三和アルミ工業株式会社
三和シヤッター工業株式会社
東海ドア株式会社
日本フネン株式会社
フジメタル株式会社
文化シヤッター株式会社
豊和工業株式会社
株式会社モリテック・インターナショナル
株式会社ＬＩＸＩＬ
ルーテス株式会社
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

ドア・クローザ

日東工器株式会社
日本ドアーチェック製造株式会社
美和ロック株式会社
リョービ株式会社

玄関ドア用錠前

株式会社ゴール
美和ロック株式会社
株式会社ユーシン・ショウワ

宅配ボックス

田島メタルワーク株式会社
株式会社フルタイムシステム
日本宅配システム株式會社

郵便受箱

株式会社キョーワナスタ
コーワソニア株式会社
株式会社新協和
株式会社ダイケン
大建プラスチックス株式会社
田島メタルワーク株式会社
ナカ工業株式会社
ハッピー金属工業株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ
リンタツ株式会社
株式会社シブタニ

プレスドア専用改修用扉

株式会社アイ・エス
日本総合住生活株式会社

＜窓・手すり＞

サッシ

三協立山株式会社
不二サッシ株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

改修用サッシ

三協立山株式会社
不二サッシ株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

サッシ（天窓）

三協立山株式会社
日本ベルックス株式会社
ファクロ・ジャパン株式会社
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

内窓

株式会社ウッドワン
大信工業株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

面格子

イワト販売株式会社
株式会社サンレール
株式会社タイコー軽金属
株式会社ナカムラ
松本金属株式会社
安田株式会社
ＹＫＫ　ＡＰ株式会社
ビニフレーム工業株式会社

墜落防止手すり

株式会社アルナコーポレーション
井上商事株式会社
久米工業株式会社
三協立山株式会社
株式会社サンケン
三洋工業株式会社
サンリットエ営株式会社
株式会社サンレール
スワン商事株式会社
株式会社タイコー軽金属
株式会社タスト
株式会社ツヅキ
トライエンジニアリング株式会社
ナカ工業株式会社
株式会社ナルコ岩井
株式会社ニシキンテック
白水興産株式会社
株式会社バルケン東京
ビニフレーム工業株式会社
不二サッシ株式会社
株式会社丸金製作所
安田株式会社
株式会社ユニテ
株式会社ＬＩＸＩＬ

<インテリア>

歩行・動作補助手すり

旭パイプ株式会社
アトラス ark 株式会社
井上商事株式会社
ケージーパルテック株式会社
三協立山株式会社
サンリット工営株式会社
株式会社サンレール
株式会社シロクマ
株式会社新協和
株式会社シンドウ工業
杉田エース株式会社
大建プラスチックス株式会社
株式会社ツヅキ
株式会社トノムラ工業
ナカ工業株式会社
株式会社ナルコ岩井
株式会社ニシキンテック
株式会社日中製作所
日本住宅パネル工業協同組合
ビニフレーム工業株式会社
マツ六株式会社
みはし株式会社
村上工業株式会社
安田株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ
株式会社リラインス
ワイエム工業株式会社
フクビ化学工業株式会社
フジ工業株式会社

内装床ユニット

淡路技建株式会社
株式会社桐井製作所
三洋工業株式会社
有限会社泰成電機工業
フクビ化学工業株式会社
ユニウッド株式会社

断熱改修用内装パネル（壁・天井）ユニット

株式会社ウッドワン
積水化学工業株式会社

天井ユニット

フクビ化学工業株式会社

<エクステリア>

ガレージ

株式会社稲葉製作所

自転車置場

株式会社稲葉製作所
ＫＹテクノロジー株式会社
積水樹脂株式会社
株式会社ダイケン
株式会社田窪工業所
株式会社ニチプレ
株式会社丸山製作所
株式会社淀川製鋼所

物置ユニット

株式会社稲葉製作所
株式会社田窪工業所

<水まわり>

キッチンシステム

クリナップ株式会社
タカラスタンダード株式会社
トーヨーキッチンアンドリビング株式会社
ナスラック株式会社
日本住宅パネル工業協同組合
株式会社樋口
株式会社矢島
株式会社ＬＩＸＩＬ
有限会社レマン

浴室ユニット

タカラスタンダード株式会社
ＴＯＴＯ株式会社
日ポリ化工株式会社
株式会社ハウステック
株式会社ブリヂストン
株式会社ＬＩＸＩＬ

浴槽

株式会社クボタ
クリナップ株式会社
ＪＦＥ建材住設株式会社
大和重工株式会社
ＴＯＴＯ株式会社
株式会社ノーリツ
株式会社ハウステック
株式会社ＬＩＸＩＬ

洗面化粧ユニット

タカラスタンダード株式会社
ＴＯＴＯ株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ

洗濯機用防水パン

シナネン株式会社
株式会社テクノテック
ＴＯＴＯ株式会社
バンポー工業株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ

洗濯機用サイホン排出管

日本総合住生活株式会社

洗濯排水スリーブ

株式会社セイワメタル

便器

ＴＯＴＯ株式会社
株式会社ＬＩＸＩＬ

圧送便器

ＴＯＴＯ株式会社

<給湯機>

ガス給湯機

大阪ガス株式会社
株式会社ガスター
東京ガス株式会社
株式会社ノーリツ
株式会社ハーマン
株式会社ハウステック
パーパス株式会社
株式会社パロマ
モリタ工業株式会社
リンナイ株式会社

電気給湯機

四変テック株式会社
パナソニック株式会社

石油給湯機

株式会社ノーリツ

密閉式ふろがま

大阪ガス株式会社
株式会社ガスター
東京ガス株式会社
株式会社ノーリツ
パーパス株式会社
リンナイ株式会社

＜太陽エネルギー利用＞

太陽熱利用システム

エナテックス株式会社
ＯＭソーラー株式会社
株式会社ガスター
株式会社コロナ
株式会社サンジュニア
太陽熱温水器株式会社
長州産業株式会社
長府工産株式会社
株式会社長府製作所
チリウヒーター株式会社
株式会社寺田鉄工所
天竜コンポジット株式会社
東京ガス株式会社
株式会社ノーリツ
パーパス株式会社
広島ガス株式会社
矢崎エナジーシステム株式会社

太陽熱利用システム（屋根下集熱方式）

環境創機株式会社

太陽熱利用システム（カスケード方式）

ミサワホーム株式会社

＜暖冷房・換気・融雪＞

家庭用ガスコージェネレーションシステム

大阪ガス株式会社
大多喜ガス株式会社
京葉瓦斯株式会社
西部ガス株式会社
静岡ガス株式会社
千葉ガス株式会社
筑波学園ガス株式会社
東京ガス株式会社
東京ガスエネルギー株式会社
東彩ガス株式会社
東邦ガス株式会社
株式会社ノーリツ
広島ガス株式会社
武州ガス株式会社
北陸ガス株式会社

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

大阪ガス株式会社
大多喜ガス株式会社
京葉瓦斯株式会社
西部ガス株式会社
静岡ガス株式会社
千葉ガス株式会社
中部ガス株式会社
筑波学園ガス株式会社
東京ガス株式会社
東京ガスエネルギー株式会社
東彩ガス株式会社
東邦ガス株式会社
広島ガス株式会社
武州ガス株式会社
北陸ガス株式会社
北海道ガス株式会社

ハイブリッド給湯・暖房システム

株式会社ノーリツ
リンナイ株式会社

暖・冷房システム

アイカ工業株式会社
株式会社アルシステム
大阪ガス株式会社
大多喜ガス株式会社
株式会社ガスター
京葉瓦斯株式会社
西部ガス株式会社
株式会社サン
三和鋼器株式会社
静岡ガス株式会社
秀朋株式会社
住商鉄鋼販売株式会社
千葉ガス株式会社
筑波学園ガス株式会社
株式会社ツツミ
東京ガス株式会社
東京ガス・エンジニアリング株式会社
東京ガスエネルギー株式会社
東彩ガス株式会社
東邦ガス株式会社
株式会社ノーリツ
株式会社ハーマン
パーパス株式会社
株式会社パロマ
広島ガス株式会社
武州ガス株式会社
北陸ガス株式会社
北海道ガス株式会社
北海道電機株式会社
森永エンジニアリング株式会社
山中産業株式会社
リフォジュール株式会社
リンナイ株式会社

融雪システム

株式会社恵比寿加工

換気ユニット

宇佐美工業株式会社
株式会社シルファー
西邦工業株式会社
タカラスタンダード株式会社
暖冷工業株式会社
東芝キヤリア株式会社
バクマ工業株式会社
パナソニック　エコシステムズ株式会社
パナソニック　エコシステムズ ベンテック株式会社
富士工業株式会社
三菱電機株式会社　中津川製作所
株式会社メルコエアテック
株式会社ユニックス
株式会社佐原
株式会社渡辺製作所
日立アプライアンス株式会社

<給排水部品>

給水ポンプシステム

株式会社岩谷電機製作所
株式会社荏原製作所
株式会社川本製作所
株式会社相互ポンプ製作所
テラル株式会社
東洋電機製造株式会社
株式会社日立産機システム
日立アプライアンス株式会社

配管システム

株式会社オンダ製作所
シーケー金属株式会社
ＪＦＥ継手株式会社
積水化学工業株式会社
株式会社タブチ
株式会社ブリヂストン
前澤給装工業株式会社
三菱樹脂インフラテック株式会社
未来工業株式会社

基礎貫通排水管ユニット

積水化学工業株式会社

<テレビ・情報・防災機器>

テレビ共同受信機器

サン電子株式会社
シンクレイヤ株式会社
ＤＸアンテナ株式会社
日本アンテナ株式会社
ホーチキ株式会社
マスプロ電工株式会社
ミハル通信株式会社

住宅用火災警報器

ニッタン株式会社
能美防災株式会社
パナソニック株式会社
ホーチキ株式会社

スプリンクラー設備

能美防災株式会社

<エレベーター>

エレベーター（マシンルームレス型エレベーター）

エス・イー・シーエレベーター株式会社
株式会社エレベータシステムズ
クマリフト株式会社
三精テクノロジーズ株式会社
ダイコー株式会社
中央エレベーター工業株式会社
東芝エレベータ株式会社
日本エレベーター製造株式会社
日本オーチス・エレベータ株式会社
株式会社日本ビルテクノス
株式会社日立ビルシステム
フジテック株式会社
三菱電機株式会社
守谷輸送機工業株式会社
横浜エレベータ株式会社

エレベーター〔小規模共同住宅用エレベーター（単体）〕

三精テクノロジーズ株式会社
日本オーチス・エレベータ株式会社
株式会社日本ビルテクノス
株式会社日立ビルシステム
フジテック株式会社
三菱電機株式会社
横浜エレベータ株式会社

エレベーター〔階段室型共同住宅用エレベーター（昇降路建物一体）〕

株式会社日本ビルテクノス
横浜エレベータ株式会社

エレベーター〔階段室型共同住宅用エレベーター（昇降路ユニット）〕

株式会社大協建材

<その他>

床下点検口（気密・断熱型）

城東テクノ株式会社

床下換気用土台スペーサー

株式会社キタイ製作所
株式会社キョーワナスタ
株式会社佐藤ケミカル
バクマ工業株式会社
フクビ化学工業株式会社

樹脂製住宅用床束

フクビ化学工業株式会社

３．ホームページにおける優良住宅部品(ＢＬ部品)のご案内

１）『ＢＬ部品　製品紹介』

※ **詳細は** BL部品製品紹介 検 索 (http://www.cbl.or.jp/shoukai/)

当財団ホームページでは、品目別・優良住宅部品(ＢＬ部品)供給企業別に、型式やシリーズ毎の製品概要、製品写真を紹介した『ＢＬ部品　製品紹介』を用意しています。(順次提供情報拡大中)

(優良住宅部品(ＢＬ部品)供給企業のカタログ入手先等のリンクも用意しています。)

「BL 部品　製品紹介」ご利用方法

(１）当財団ホームページ上の「ＢＬ部品　製品紹介」をクリックしてください。

品目毎に、その品目の供給企業が表示されます。

(　)内の数字は、紹介している製品情報の件数です。

企業名をクリック

(２）ご覧になりたい企業名をクリックしてください。

当該メーカーの優良住宅部品(ＢＬ部品)がシリーズまたは型式毎に表示されます。

画面には、製品画像と製品説明が掲載されています。

① 製品画像：認定されれ優良住宅部品(ＢＬ部品)の写真やイラスト等を表示しています。

② 製品説明：表示されているシリーズ又は型式の製品概要を説明しています。

なお、当該型式やシリーズが確認できる企業のホームページ等へのリンクも用意しています。又企業のアフターサービス（お客様相談室や修理窓口)、ＢＬ部品購入連絡先等へのリンクも用意しています。

『メーカーの製品紹介』をクリック

『メーカーのカタログ情報』をクリック

当該型式やシリーズが確認できる［企業のホームページ］

［企業のカタログ情報ページ］

小さなマークが大きな信頼

一般財団法人ベターリビング

専門家相談室　　TEL：03-5211-0619　FAX：03-5211-0590

お客様相談室　　TEL：03-5211-0680　FAX：03-5211-0590

10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く）

ＢＬ部品に関することならどんなことでもご相談下さい

〒102-0071　東京都千代田区富士見２－７－２　ステージビルディング６階

http://www.cbl.or.jp/cs/index.html

Center for Better Living　20150601.2000